

白川・東白川地域公共交通網形成計画

2018年8月

白川町・東白川村

白川・東白川地域公共交通網形成計画

目次

第1章 白川・東白川地域公共交通網形成計画の趣旨等.....	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画区域.....	2
3. 計画期間.....	2
4. 計画の位置づけ（上位計画、関連計画との関係）	3
第2章 地域公共交通に関する現状	4
1. 地域環境の整理.....	4
2. 公共交通の現況.....	9
3. 公共交通の利用に対する助成制度.....	24
第3章 地域公共交通活性化協議会立ち上げ以後の取組状況	26
1. 地域公共交通活性化協議会・地域部会.....	26
2. 実証運行.....	33
3. その他（夏休み50円バス）	34
第4章 公共交通の利用実態・ニーズ把握に関する調査.....	36
1. 住民アンケート	36
2. 地域部会でのヒアリング調査.....	42
第5章 地域公共交通に関する課題の整理.....	45
第6章 白川・東白川地域公共交通網形成計画の基本方針・目標.....	46
1. 計画の基本方針.....	46
2. 新しい公共交通システムのイメージ	48
3. 計画の目標	54
第7章 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項.....	60
1. 施策の体系	60
2. 施策の内容	61
第8章 計画の達成状況の評価に関する事項.....	66
1. 進行管理・評価・定期的な見直し.....	66
2. 評価の方法及びスケジュール	66

第1章 白川・東白川地域公共交通網形成計画の趣旨等

1. 計画策定の趣旨

白川町と東白川村は、岐阜県の中濃地域に位置する人口計1万人弱の中山間自治体です。

西側を北から南に流れる飛騨川に沿ってJR高山本線と国道41号線があり、飛騨川の支流に沿って路線バスと主要道路が延び、それらが主な集落を縫う形をとってきました。

しかし、全国平均をはるかに上回る人口減少と少子高齢化、そしてモータリゼーションの進展によって、JR線や路線バスの利用者は減少を続けてきました。路線バスについては、1987年以降、順次廃止となった路線を町村が廃止代替として濃飛バスに委託し、運行経費と運送収益の差額を町村が補てんすることで運行を継続してきました。しかし、以前から問題となっていた運転手不足が限界を迎え、2016年4月から全路線で土日祝日等の全面運休、2路線（佐見線、蘇原線）の朝夕運休など、大幅な減便となりました。一方で、タクシー事業者は1社1台のみで、貸切バス事業者もなく、代替手段確保が極めて難しい状況となりました。既に高校通学が不可能となった地域が出ており、このまま放置すれば今後さらに拡大するおそれがあります。それによって子どもがいる世帯の流出が進み、地域の衰退を加速させることが憂慮される状況です。加えて、運転免許を持たない高齢者やJRでの来訪者の移動手段にもこと欠いています。

しかし、地域内には、町村で運行しているスクールバス、病院等が運行する送迎バスなどがあり、公共交通の維持・改善のために、これらも合わせた一体的なシステムの構築が喫緊の課題となっています。

こうした絶望的状况にある公共交通を抜本的に改善するため、2016年6月に両町村合同で、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（活性化再生法）」第六条に基づく協議会として「白川・東白川地域公共交通協議会」を設置し、集中的に取り組む体制をとりました。その後、地域全体で様々な検討を行った結果、今後の方向性を示す計画として、活性化再生法第五条に基づく本計画を策定しました。地域公共交通は地域の基本的なインフラであるという認識のもとに、地域住民自らがその維持に参画し、また利用促進に努めることが本計画の重要なメッセージです。そしてその取組は、交通分野のみならず、地域全体の活力の維持・改善につながり、各町村が総合計画で掲げる「水源の里の恵みいっぱい 活みなぎる人たちが暮らすまち美濃白川（白川町）」「豊かな自然と美しい景観に包まれて人がかがやく 地域力のあるむらひがししらかわ（東白川村）」の実現にも資するものとなります。

2. 計画区域

本計画の対象区域は、白川町と東白川村の行政区域全域（324.99 km²（白川町 237.90 km²、東白川村 87.09 km²））とします。

3. 計画期間

計画期間は、2018年度から2022年度とします。

4. 計画の位置づけ（上位計画、関連計画との関係）

本計画（2018年～2022年）は、白川町・東白川村の公共交通計画と位置付けます。白川町第5次総合計画（2011年～2020年）と東白川村第5次総合計画（2015年～2022年）を上位計画とし、白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015年～2019年）、東白川村創生総合戦略（2015年～2019年）、地域再生計画などの関連諸計画との整合を図りつつ策定します。



第2章 地域公共交通に関する現状

1. 地域環境の整理

(1) 地勢

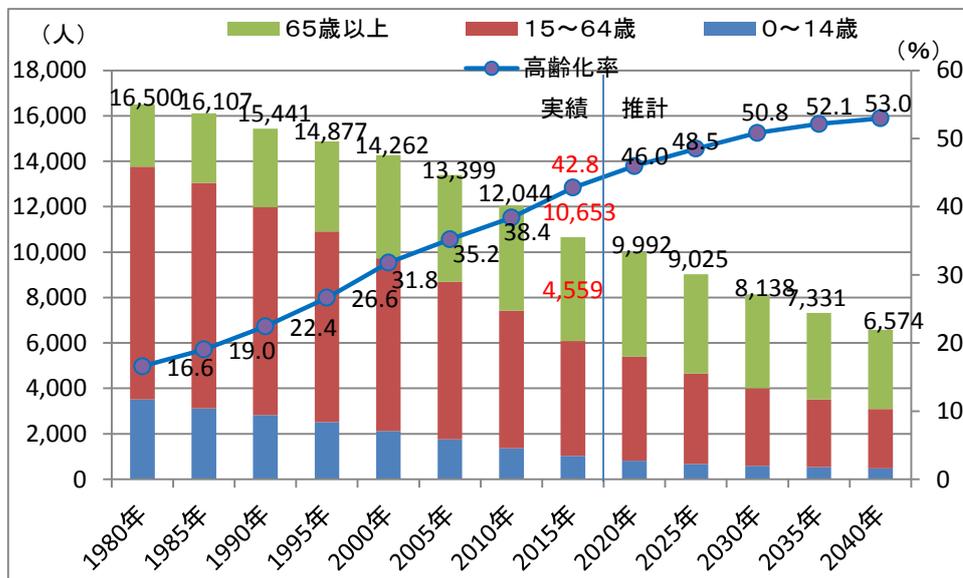
白川町と東白川村は岐阜県の中部、中濃地域の北東部に位置し、総面積は324.99km²（白川町237.90km²、東白川村87.09km²）となっており、その88.0%にあたる286.10km²（白川町207.84km²、東白川村78.26km²）を山林が占めています。白川町の西端を流れる飛騨川に、4本の川（佐見川、白川、黒川、赤川）が扇状に東側から注いでおり、それらの流域に主な集落が点在しています。

(2) 人口、世帯数、人口構成

2015年国勢調査の人口・世帯数は10,653人・3,819世帯、（白川町8,392人・3,002世帯、東白川村2,261人・817世帯）となっています。2010年からの減少率は白川町▲11.9%（岐阜県ワースト2位）、東白川村▲10.1%（同3位）と、県内有数の人口減少地域となっており、将来的にも人口減少が一層進行することが予測されています。

65歳以上人口は4,559人（白川町3,606人、東白川村953人）で、高齢化率は42.8%に達しており、岐阜県平均28.1%と比較しても高齢化が非常に進行している地域です。

両町村とも過疎地域自立促進特別措置法上の過疎地域の指定を受けています。



(出所) 1980年～2015年は総務省「国勢調査」による実績値

2020年～2040年は国立社会保障・人口問題研究所の推計値

(3) 地域の状況

白川町の西端を国道 41 号線が南北に縦断し、白川町北部と東白川村を国道 256 号線が横断しています。また、5つの主要地方道が白川町西部から東部へ扇状に伸び、広大な面積に点在する集落までは急峻な生活道路がつないでいます。

当地域内の自動車保有台数(乗用自家用車)は、普通自動車 3,875 台(白川町 2,965 台、東白川村 910 台)、軽自動車 2,811 台(白川町 2,235 台、東白川村 576 台)の計 6,686 台(白川町 5,200 台、東白川村 1,486 台)と、世帯あたり 1.8 台となっています(2017 年 3 月末時点)。

【自動車保有台数(乗用自家用車)】			2017年3月末
	普通自動車	軽自動車	合計
白川町	2,965台	2,235台	5,200台
東白川村	910台	576台	1,486台
合計	3,875台	2,811台	6,686台

(出所)中部運輸局、全国軽自動車協会連合会

当地域内の免許保有者数は、7,551 人(白川町 5,927 人、東白川村 1,624 人)で 18 歳以上の免許保有率は 78.5%となっています。また、65 歳以上の免許保有者数は、2,798 人(白川町 2,183 人、東白川村 615 人)で、免許保有率は 61.4%となっています。75 歳以上でも 43.1%が免許を保有しています(2018 年 2 月末時点)。

【免許保有者数(18歳以上人口割)】									2018年2月末
区分	白川町			東白川村			合計		
	人口	免許保有者	保有率	人口	免許保有者	保有率	人口	免許保有者	保有率
24歳以下	470人	369人	78.5%	111人	82人	73.9%	581人	451人	77.6%
25～64歳	3,522人	3,375人	95.8%	959人	927人	96.7%	4,481人	4,302人	96.0%
65～69歳	843人	791人	93.8%	201人	189人	94.0%	1,044人	980人	93.9%
70～74歳	547人	468人	85.6%	156人	137人	87.8%	703人	605人	86.1%
75歳以上	2,197人	924人	42.1%	615人	289人	47.0%	2,812人	1,213人	43.1%
合計	7,579人	5,927人	78.2%	2,042人	1,624人	79.5%	9,621人	7,551人	78.5%

(出所)加茂警察署

当地域には高校はなく、地域内の高校生は、美濃加茂市に 93 人、可児市に 24 人、下呂市に 27 人通学しています。115 人(39.9%)が下宿しています。

高校所在地別通学者数

(人)

高校所在地	通学者数	自宅通学			下宿等		
		白川町	東白川村	計	白川町	東白川村	計
美濃加茂市	121	79	14	93	15	13	28
可児市	34	22	2	24	5	5	10
八百津町	3	2	0	2		1	1
御嵩町	22	9	4	13	7	2	9
飛騨	32	20	7	27	2	3	5
中濃	9	0	0	0	7	2	9
東濃	23	6	1	7	9	7	16
岐阜	29	6	0	6	17	6	23
西濃	10	0	0	0	6	4	10
県外	5	1		1	2	2	4
合計	288	145	28	173	70	45	115

白川町には、保育園6園（うち私立1園）、小学校5校、中学校3校あり、東白川村には、保育園1園、小学校1校、中学校1校あり、全体として通学者の減少傾向が続いていますが、地区によっては、域外からの子育て世帯の移住によって増加している年度も見られます。

【小中高校生の推移】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
高校(白川中卒)	186	181	173	175	150
高校(黒川中卒)	57	56	57	50	49
高校(佐見中卒)	36	37	34	29	24
高校(東白川中卒)	75	72	72	65	73
計	354	346	336	319	296
白川中	174	150	133	130	123
黒川中	50	49	46	53	44
佐見中	31	26	28	25	25
東白川中	70	72	71	77	65
計	325	297	278	285	257
白川小	69	67	64	63	52
白川北小	61	52	47	37	39
蘇原小	127	125	118	107	112
黒川小	90	81	77	63	62
佐見小	47	44	38	41	38
東白川小	125	115	95	80	85
計	519	484	439	391	388
合計	1,198	1,127	1,053	995	941

当地域に自治会は84（白川町65、東白川村19）あり、中には、高齢化比率が50%超の自治会も14（白川町9、東白川村5）あります（2018年2月末時点）。

地域内には、通院先として病院・医院・診療所が5、買物先としてスーパーが2店、ドラッグストアが1店、コンビニエンスストアが2店あります。また、公共施設は、町村役場のほか、町民会館、ふれあいセンター4、道の駅3、図書館があります。

【自治会の人口と高齢化率】

自治協議会	自治会	人口	65以上	高齢化率	
白川口	両神	137	52	38.0%	
	本郷	119	67	56.3%	
	小原一	171	58	33.9%	
	小原二	165	67	40.6%	
	小原三	104	48	46.2%	
	下金	99	48	48.5%	
	計	795	340	42.8%	
	泉野	和泉	331	111	33.5%
		広野	92	55	59.8%
	計	423	166	39.2%	
中野	水戸野	146	61	41.8%	
	中川	191	80	41.9%	
計	337	141	41.8%		
白川地区計					
		1,555	647	41.6%	
大山	宇津尾	163	67	41.1%	
	油井	127	57	44.9%	
	野原	179	76	42.5%	
	村君	54	22	40.7%	
	計	523	222	42.4%	
坂ノ東	新津	86	40	46.5%	
	小川	143	67	46.9%	
	広島	133	59	44.4%	
	大和	363	154	42.4%	
	葛牧	132	56	42.4%	
計	857	376	43.9%		
白川北地区計					
		1,380	598	43.3%	
自治協議会	自治会	人口	65以上	高齢化率	
切井	中の瀬	112	41	36.6%	
	丑丸	56	27	48.2%	
	川畑	99	42	42.4%	
	中切	63	21	33.3%	
	切井本郷	84	40	47.6%	
	追分	41	24	58.5%	
	塔洞	92	39	42.4%	
	鹿折	95	42	44.2%	
	中央	57	24	42.1%	
	稲中	74	31	41.9%	
	石木	61	25	41.0%	
	計	834	356	42.7%	
	赤河	上赤河	101	37	36.6%
	後山	75	33	44.0%	
	日向	213	73	34.3%	
	赤河本郷	106	43	40.6%	
	小倉	99	36	36.4%	
	下古野	51	29	56.9%	
	増田	94	33	35.1%	
	下赤河	113	23	20.4%	
	古田	56	23	41.1%	
計	908	330	36.3%		
三川	下平	103	41	39.8%	
	山寄	191	83	43.5%	
	藤井	147	50	34.0%	
	三川本郷	295	81	27.5%	
	上田	109	53	48.6%	
計	845	308	36.4%		
蘇原地区計					
		2,587	994	38.4%	
自治協議会	自治会	人口	65以上	高齢化率	
南黒川	黒川中切	242	97	40.1%	
	中之平	282	119	42.2%	
計	524	216	41.2%		
東黒川	鱒淵	206	82	39.8%	
	中新田	163	65	39.9%	
	奥新田	109	57	52.3%	
計	478	204	42.7%		
北黒川	柿反上	219	99	45.2%	
	柿反中	170	74	43.5%	
	日面下	142	56	39.4%	
計	531	229	43.1%		
西黒川	小畑	110	44	40.0%	
	下之平	127	58	45.7%	
	小坂	130	59	45.4%	
	下新田	41	23	56.1%	
計	408	184	45.1%		
黒川地区計					
		1,941	833	42.9%	
佐見	有本	167	87	52.1%	
	吉田	134	65	48.5%	
	大寺	146	64	43.8%	
	小野	162	86	53.1%	
	久室	136	63	46.3%	
	成山	146	77	52.7%	
	稲田	71	32	45.1%	
	薄野	45	20	44.4%	
	徳田	43	21	48.8%	
	計	1,050	515	49.0%	
白川町合計					
		8,513	3,587	42.1%	
区	自治会	人口	65以上	高齢化率	
神土	大口	39	24	61.5%	
	平	335	131	39.1%	
	親田	223	110	49.3%	
	中通	104	34	32.7%	
	神付	118	32	27.1%	
	中谷	66	36	54.5%	
	加香尾	53	28	52.8%	
西洞	107	52	48.6%		
計	1,045	447	42.8%		
越原	曲坂	93	32	34.4%	
	日向	167	63	37.7%	
	陸地	249	101	40.6%	
	橋山	55	20	36.4%	
	黒瀬	108	56	51.9%	
大明神	180	81	45.0%		
計	852	353	41.4%		
五加	柏本	168	58	34.5%	
	宮代	53	26	49.1%	
	大沢	112	51	45.5%	
	下野	69	25	36.2%	
	久須見	23	12	52.2%	
計	425	172	40.5%		
東白川村合計					
		2,322	972	41.9%	
町村合計					
		10,835	4,559	42.1%	

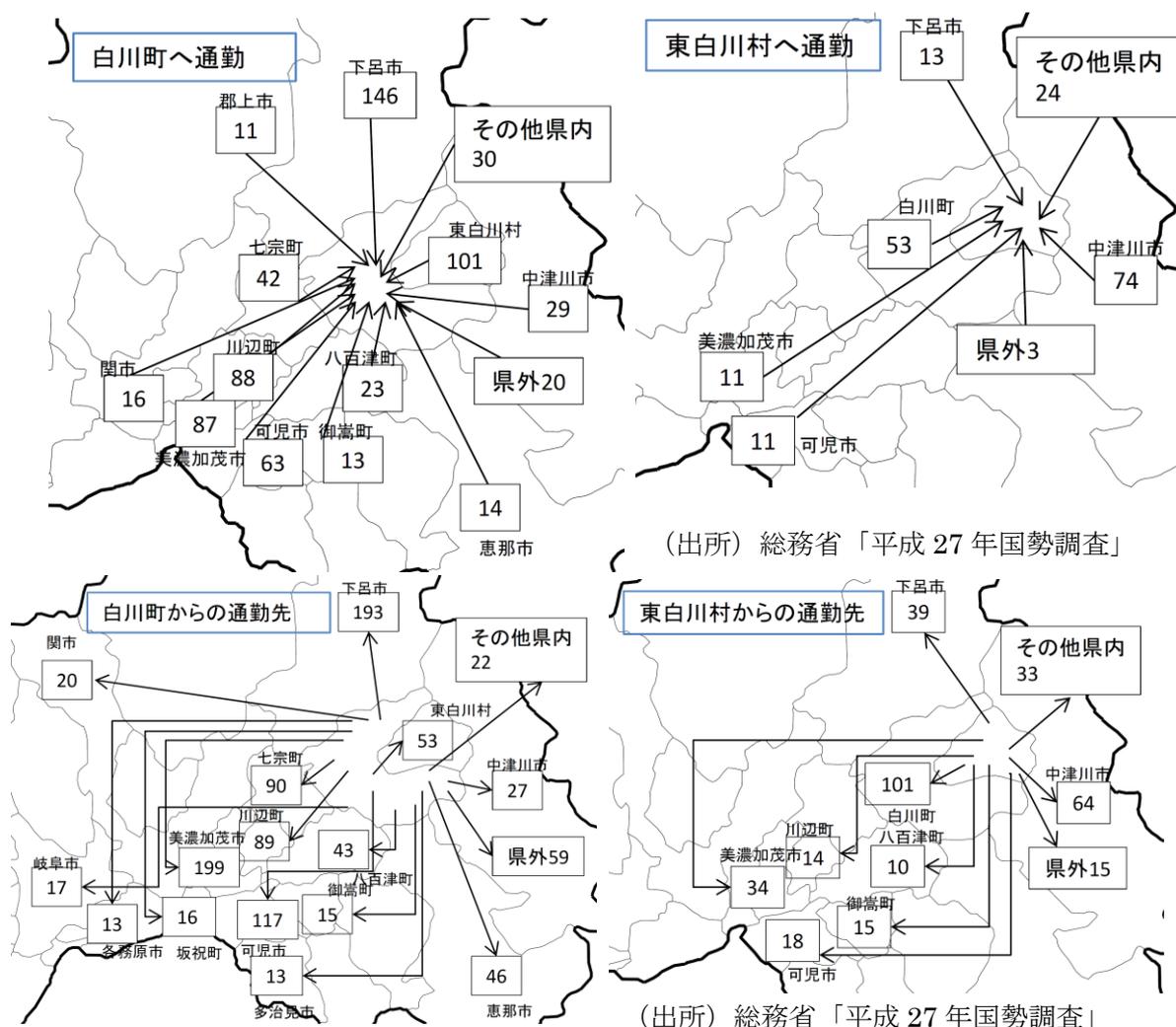
(出所)住民基本台帳

(4) 通勤流動

他市町村から当地域への通勤は総数 872 人（白川町 683 人、東白川村 189 人）となっています。白川町に通勤する就業者の居住地は下呂市が最も多く 146 人、次いで東白川村 101 人、川辺町 88 人となっています。東白川村に通勤する就業者の居住地は中津川市が最も多く 74 人、次いで白川町 53 人、下呂市 11 人となっています。

当地域から他市町村への通勤は総数 1,362 人（白川町 1,034 人、東白川村 328 人）となっています。白川町の就業者の通勤先は美濃加茂市が最も多く 199 人、次いで下呂市 193 人、可児市 117 人となっています。東白川村の就業者の通勤先は白川町が最も多く 101 人、次いで中津川市 64 人、下呂市 39 人となっています。

昼間人口は 9,908 人（白川町 7,827 人、東白川村 2,081 人）で、昼間人口比率は 93% となっています。



(5) 通学流動 (15 歳以上就学者)

当地域には高校・大学はなく、他市町村からの通学はありません。他市町村への通学者は 255 人（白川町 215 人、東白川村 40 人）となっています。白川町の就学者の通学先は美濃加茂市が 112 人で最も多く、次いで可児市、下呂市が各 20 人となっています。東白川村の就学者の通学先は美濃加茂市が 16 人と最も多くなっています。



(出所) 総務省「平成 27 年国勢調査」

2. 公共交通の現況

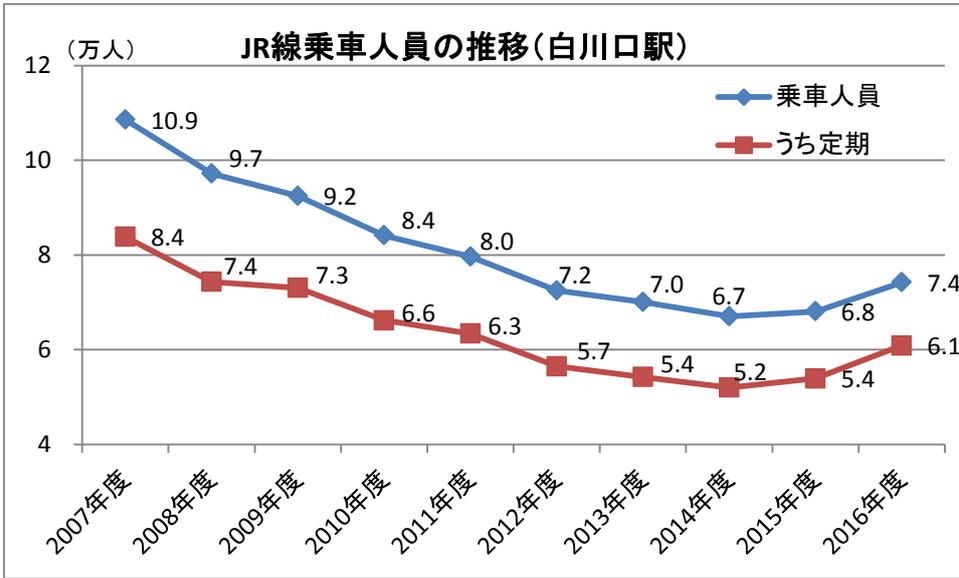
(1) 鉄道

鉄道は、岐阜県岐阜市から富山県富山市を結ぶ東海旅客鉄道（JR 東海）の高山本線が国道 41 号線と並行して走り、白川町内に白川口駅、下油井駅が設置されています。

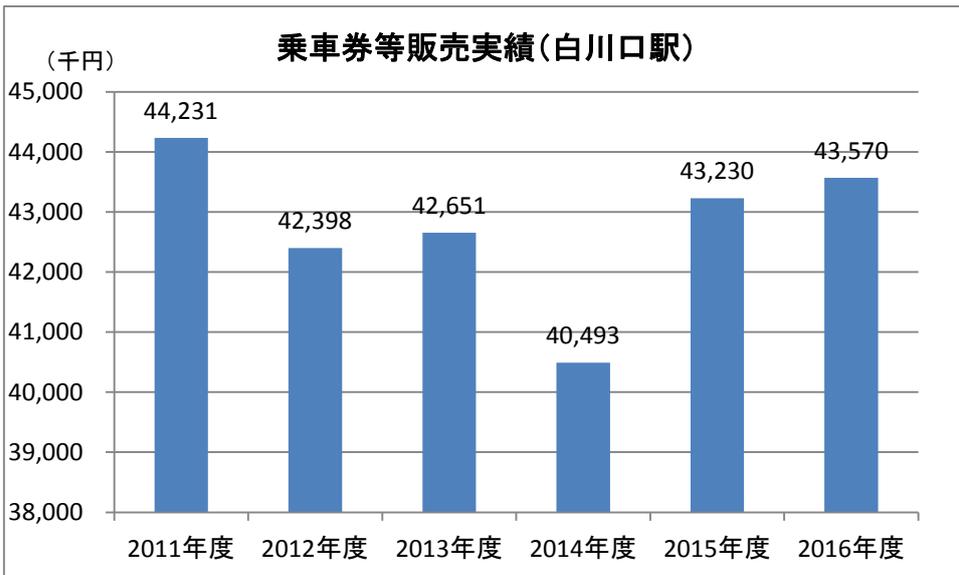
白川口駅は、平日、土休日とも、岐阜方面行きが 1 日 18 本（うち特急 4 本）、富山方面行きが 1 日 17 本（うち特急 4 本）停車しています。特急は、白川口～名古屋間を約 1 時間 20 分で結んでいます。また、2012 年から簡易委託駅として臨時職員による委託販売を開始しています。直近の 2016 年度は 43.6 百万円を販売し、1,644 千円の手数料収入がありました。

白川口駅の乗車数は、2008 年度に 10 万人を割り込んで以降減少の一途をたどっていましたが、2014 年度 6.7 万人を底に増加傾向に転じています。直近の 2016 年度は、7.4 万人となっています。

無人駅である下油井駅には、平日、土休日とも、岐阜方面行きが 1 日 12 本、富山方面行きが 1 日 13 本停車しています。

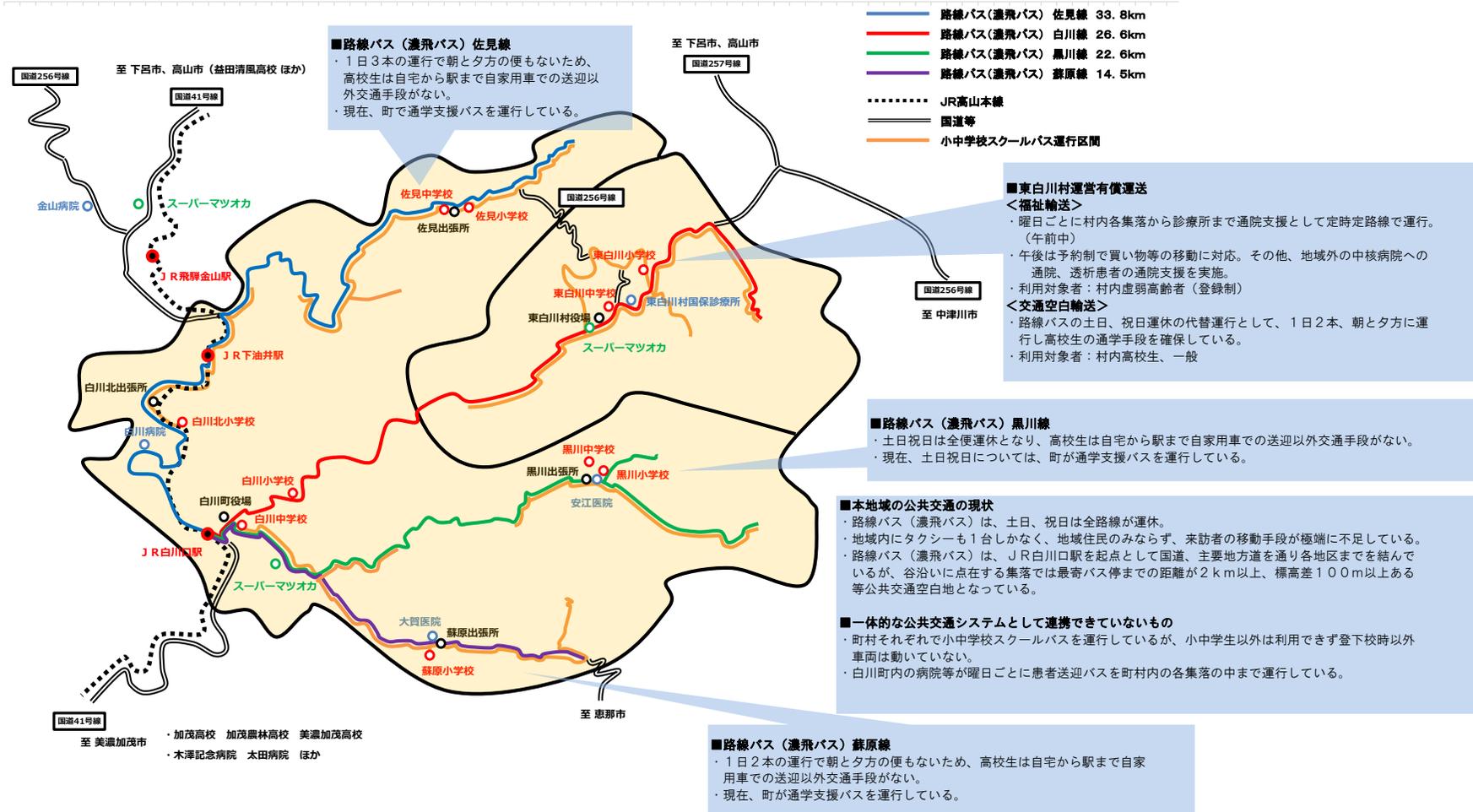


(出所) JR 東海



(出所) 白川町

【現在の公共交通体系】



(2) 路線バス

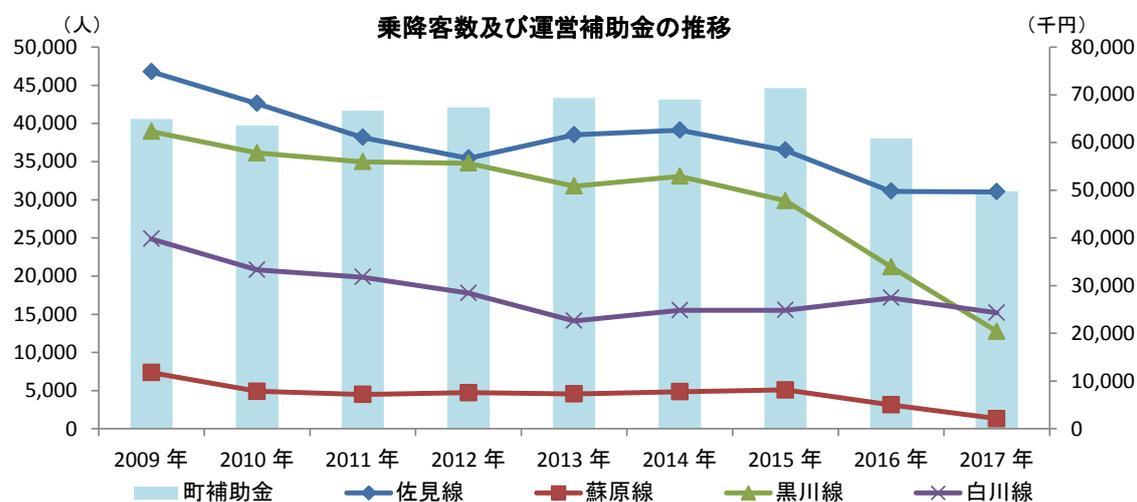
路線バスは、1987 年以降順次廃止となった路線を町村が廃止代替として濃飛乗合自動車株式会社（濃飛バス）に委託し運行しています。JR 白川口駅を起点とした 4 路線（佐見線、黒川線、蘇原線、白川線）が主要道路を走り、両町村で一体的な路線網になっているとともに、他市町とは独立しています。営業所は白川町内（河岐 1843 番地 2）に設けられ、4 両 4 人体制となっています。高校生や高齢者等の移動手段として重要な役割を果たし、運行経費と運送収益の差額を町村が補てんすることで運行を継続してきました。

しかし、以前から問題となっていた運転手不足が限界を迎え、2016 年 4 月から「全路線で土日祝日等の運行廃止」「蘇原・佐見線の白川口駅 18 時台発の運行休止」「佐見地区の朝晩運行休止」「蘇原線の朝晩の運行休止を含めた大幅な減便」といった運行見直しが実施されました。高校生のバス通学が一層困難となり、家族での転出者が増加する等が懸念されたため、新しい公共交通システムが構築されるまでの臨時的措置として、後述のとおり、白川町では通学支援バス、東白川村では土日代替バスが運行されています。

また、2016 年 3 月までは、白川口駅から加茂高校、加茂農林高校へ高校スクールバス（路線バスの定期券・回数券購入者は無料）を運行していましたが、その他の高校へ通学する生徒にも広く支援するため、2016 年 4 月から JR 定期券の運賃補助に切り替わりました。

【乗降客数及び運営補助金の推移】

区 分	経常収益 千円	運行経費 千円	町補助金 千円	乗 降 客 数				
				人	佐見線	蘇原線	黒川線	白川線
2009 年	21,553	86,476	64,923	117,943	46,772	7,358	38,935	24,878
2010 年	18,765	82,344	63,579	104,458	42,602	4,909	36,131	20,816
2011 年	19,275	85,936	66,661	97,484	38,154	4,505	34,962	19,863
2012 年	19,409	86,769	67,360	92,715	35,432	4,730	34,782	17,771
2013 年	18,702	88,022	69,320	88,983	38,494	4,575	31,787	14,127
2014 年	20,081	89,077	68,996	92,533	39,099	4,851	33,077	15,506
2015 年	20,918	92,298	71,380	86,965	36,468	5,100	29,870	15,527
2016 年	17,370	78,243	60,873	72,595	31,099	3,145	21,211	17,140
2017 年	14,022	63,833	49,811	60,294	31,023	1,331	12,750	15,190

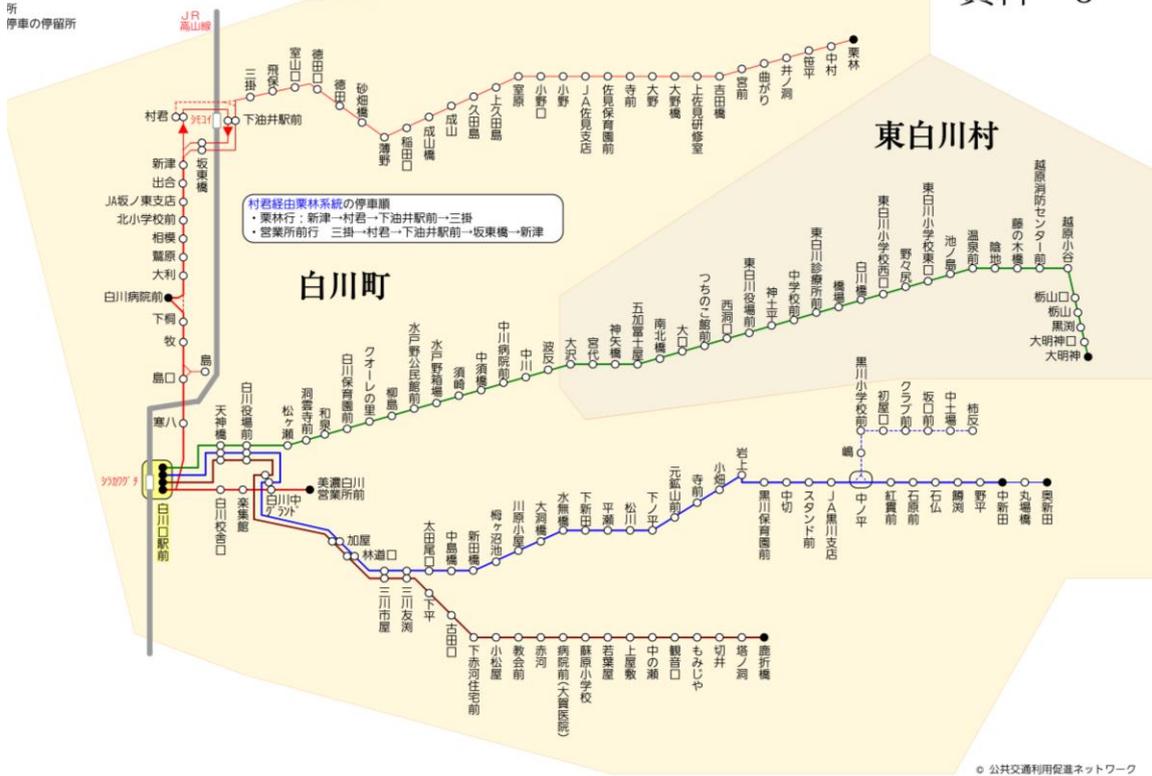


【路線図】

のみが運行する経路

所
停車の停留所

資料 5



▽ 矢印の方向のみ停車の停留所
 → 片方向のみ運行

【路線概要】

系統名	佐見線	白川線	黒川線	蘇原線
距離	33.8 km	26.6 km	30.6 km	14.5 km
料金	160 円～1,440 円	160 円～1,210 円	160 円～1,060 円	160 円～720 円
運行区間	営業所前～ 白川口駅前～ 下油井駅～栗林	白川口駅前～ 大明神	白川口駅前～ 柿反～中新田～ 奥新田	白川口駅前～ 鹿折橋

【時刻表】 2018年4月から

濃飛バス時刻表

美濃白川営業所
TEL 0574-72-1023
平成30年4月1日改正

★平成30年4月1日～平成30年9月30日までの運行時間です。
10月1日からは、新しい公共交通システムでの運行となります。

土・日・祝日・8月13日～15日は、全便運休となります。

平日		佐 見 線																						
営業所前 → 白川口駅前 → 白川病院 → 下油井駅前 → 栗林										栗林 → 下油井駅前 → 白川病院 → 白川口駅前 → 営業所前														
営業所前(発)	白川口駅前	鳥	白川病院	JA坂ノ東支店	村君	下油井駅前	徳田	成山	小野	吉田橋	栗林(発)	栗林(発)	吉田橋	小野	成山	徳田	村君	下油井駅前	JA坂ノ東支店	白川病院	鳥	白川口駅前	営業所前(着)	
6:30	6:35	→	6:41	6:45	6:50	6:55						8:00	8:05	8:11	8:17	8:25	→	8:38	8:43	8:48	→	7:18	7:23	
	7:02	→	7:08	7:12	→	7:20	7:30	7:38	7:44	7:50	7:58												8:56	9:01
	9:00	→	9:06																				9:12	
10:20	10:30	→	10:36	10:40	→	10:48	10:58	11:06	11:12	11:18	11:26	11:26	11:31	11:37	11:43	11:51	→	12:04	12:09	12:14	→	12:22	12:27	
	14:30	→	14:35	14:38	→	14:50	15:00	15:08	15:14	15:20	15:28	15:30	15:35	15:41	15:47	15:55	→	16:08	16:13	16:18	→	16:21	16:28	
17:18	17:23	→	17:29	17:33	→	17:43																	18:01	

平日		白 川 線																						
白川口駅前 → 和泉 → 中川 → 神土 → 越原 → 大明神										大明神 → 越原 → 神土 → 中川 → 和泉 → 白川口駅前														
白川口駅前(発)	和泉	水戸野公民館	中川病院	五加富士	西洞	東白川役場前	東白川診療所前	温泉前	小谷	黒測	大明神(着)	大明神(発)	黒測	小谷	温泉前	東白川診療所前	東白川役場前	西洞	五加富士	中川病院	水戸野公民館	和泉	白川口駅前(着)	
9:08	9:14	9:18	9:22	9:29	9:33	9:34	9:36	9:40	9:44	9:49	9:55	8:13	8:16	8:21	8:24	8:28	8:30	8:31	8:36	8:42	8:46	8:51	7:00	
11:10	11:16	11:20	11:24	11:31	11:35	11:36	11:38	11:42	11:46	11:51	11:57										7:50	7:54	7:59	8:08
15:00	15:06	15:10	15:14	15:21	15:25	15:26	15:28	15:32	15:36	15:41	15:47	9:55	9:58	10:03	10:06	10:10	10:12	10:13	10:18	10:24	10:28	10:33	10:42	
16:45	16:51	16:56	17:02									11:57	12:00	12:05	12:08	12:12	12:14	12:15	12:20	12:26	12:30	12:35	12:44	
17:40	17:46	17:51	17:57									15:47	15:50	15:55	15:58	16:02	16:04	16:05	16:10	16:16	16:20	16:25	16:34	
18:40	18:46	18:50	18:54	19:01	19:05	19:06	19:08	19:12	19:16	19:21	19:27													

の区間については、降車のお客様がおみえになるバス停まで運行いたします。

平日		黒 川 線																					
白川口駅前 → 友測 → 中ノ平 → 柿反 → 中ノ平 → 中新田 → 奥新田										奥新田 → 中新田 → 中ノ平 → 柿反 → 中ノ平 → 友測 → 白川口駅前													
白川口駅前(発)	白川中グランド	三川市 豊	三川市 友測	河原小	下新田	下ノ平	中ノ平	柿反	黒測	中新田	奥新田(着)	奥新田(発)	中新田	黒測	柿反	中ノ平	下ノ平	下新田	河原小	三川市 豊	三川市 友測	白川中グランド	白川口駅前(着)
7:16	7:19	7:24	7:26	7:31	7:34	7:40	7:47	→	7:50	7:55	8:02												7:00
13:20	13:23	13:28	13:30	13:35	13:38	13:44	13:51	→	13:54	14:00		8:02	8:07	8:09	8:19	8:25	8:34	8:37	8:42	8:48	8:49	8:53	8:59
14:50	14:53	14:58	15:00	15:05	15:08	15:14	15:21	→	15:27	15:35	15:40	15:47	14:00	14:02	→	14:06	14:15	14:18	14:23	14:29	14:30	14:34	14:40
17:40	17:43	17:48	17:50	17:55	17:58	18:04	18:11	→	18:14	18:20		15:47	15:52	15:54	→	15:58	16:08	16:11	16:16	16:22	16:23	16:27	16:33
18:40	18:43	18:48	18:50	18:55	18:58	19:04	19:11	→	19:14	19:20													

の区間については、降車のお客様がおみえになるバス停まで運行いたします。

平日		蘇 原 線																	
白川口駅前 → 友測 → 上屋敷 → 切井 → 鹿折橋										鹿折橋 → 切井 → 上屋敷 → 友測 → 白川口駅前									
白川口駅前(発)	白川中グランド	三川市 豊	三川市 友測	下赤河住宅前	病院前	上屋敷	観音口	切井	鹿折橋(着)	鹿折橋(発)	切井	観音口	上屋敷	病院前	下赤河住宅前	三川市 豊	三川市 友測	白川中グランド	白川口駅前(着)
9:30	9:33	9:38	9:40	9:43	9:46	9:48	9:52	9:55	10:00	10:00	10:02	10:04	10:08	10:10	10:14	10:19	10:20	10:24	10:30
13:20	13:23	13:28	13:30	13:33	13:36	13:38	13:42	13:45	13:50	13:50	13:52	13:54	13:58	14:00	14:04	14:09	14:10	14:14	14:20

濃飛バス

濃飛バスで行く

安全・安心・快適な旅

創業75周年に向けて...

75th Anniversary

濃飛バス

安全評価認定「三つ星」

濃飛バスは、お客様が安心してバス会社を指定できる濃飛バス事業安全運行管理体制で「三つ星」の風采を磨きました。

美濃太田・岐阜方面		下呂・高山方面	
5:30	岐阜	5:33	高山
6:12	岐阜	6:48	高山
7:08	岐阜	8:04	高山
8:04	岐阜	9:05	高山
9:05	岐阜	10:27	高山
9:20	岐阜	10:57	高山
11:03	岐阜	13:13	高山
12:27	岐阜	14:26	高山
13:52	岐阜	16:14	高山
14:38	岐阜	16:42	高山
14:54	岐阜	17:33	高山
16:45	岐阜	17:57	高山
17:14	岐阜	18:35	高山
18:35	岐阜	19:25	高山
19:33	岐阜	20:00	高山
20:43	岐阜	21:24	高山
21:42	岐阜	21:42	高山
23:32	岐阜	22:53	高山

【時刻表】 2016年4月から2018年3月まで

ご旅行のご用命は
濃飛バス 下呂トラベルセンター
TEL 0576-25-3014

濃飛バス時刻表

美濃白川営業所
TEL 0574-72-1023
平成28年4月1日改正

土・日・祝日・8月13日～15日・12月29日～1月3日は、全便運休となります。

貸切バス・送迎バスのご用命は、濃飛バスへ

平日		佐 見 線																							
営業所前 → 白川口駅前 → 白川病院 → 下油井駅前 → 栗林										栗林 → 下油井駅前 → 白川病院 → 白川口駅前 → 営業所前															
営業所前(発)	白川口駅前	島	白川病院	JAR/東支店	村君	下油井駅前	徳田	成山	小野	吉田橋	栗林(南)	栗林(北)	吉田橋	小野	成山	徳田	村君	下油井駅前	JAR/東支店	白川病院	島	白川口駅前	営業所前(着)		
6:25	6:30	→	6:36	6:40	6:45	6:50							8:00	8:05	8:11	8:17	8:25	→	8:38	8:43	8:48	→	7:13	7:18	
	7:02	→	7:08	7:12	→	7:20	7:30	7:38	7:44	7:50	7:58									8:43	8:48	→	8:56	9:01	
	9:00	→	9:06																	9:06			→	9:12	
10:20	10:30	→	10:36	10:40	→	10:48	10:58	11:06	11:12	11:18	11:26	11:26	11:31	11:37	11:43	11:51	→	12:04	12:09	12:14	→	12:22	12:27		
	14:30	→	14:38	14:42	→	14:50	15:00	15:08	15:14	15:20	15:28	15:30	15:35	15:41	15:47	15:55	→	16:08	16:13	16:18	→	16:28			
17:05	17:10	→	17:16	17:20	17:25	17:30														17:25	17:30	→	17:48		
17:30	17:40	→	17:46	17:50	17:55	18:00														17:55	18:00	→	18:18		

平日		白 川 線																					
白川口駅前 → 和泉 → 中川 → 神土 → 越原 → 大明神										大明神 → 越原 → 神土 → 中川 → 和泉 → 白川口駅前													
白川口駅前(発)	和泉	水戸野公民館	中須橋	五加富士屋	西岡口	東白川役場前	東白川診療所前	温泉前	小谷	黒測	大明神(南)	大明神(北)	黒測	小谷	温泉前	東白川診療所前	東白川役場前	西岡口	五加富士屋	中須橋	水戸野公民館	和泉	白川口駅前(着)
8:56	9:02	9:06	9:09	9:17	9:21	9:22	9:24	9:28	9:32	9:37	9:43	6:13	6:16	6:21	6:24	6:28	6:30	6:31	6:36	6:43	6:46	6:51	7:00
11:10	11:16	11:20	11:23	11:31	11:35	11:36	11:38	11:42	11:46	11:51	11:57									8:01	8:04	8:09	8:18
15:00	15:06	15:10	15:13	15:21	15:25	15:26	15:28	15:32	15:36	15:41	15:47	9:43	9:46	9:51	9:54	9:58	10:00	10:01	10:06	10:13	10:16	10:21	10:30
16:30	16:36	16:41	16:45									11:57	12:00	12:05	12:08	12:12	12:14	12:15	12:20	12:27	12:30	12:35	12:44
18:40	18:46	18:50	18:53	19:01	19:05	19:06	19:08	19:12	19:16	19:21	19:27	15:47	15:50	15:55	15:58	16:02	16:04	16:05	16:10	16:17	16:20	16:25	16:34

の区間については、降車のお客様がおみえになるバス停まで運行いたします。

平日		黒 川 線																							
白川口駅前 → 友測 → 中ノ平 → 袴反 → 中ノ平 → 中新田 → 奥新田										奥新田 → 中新田 → 中ノ平 → 袴反 → 中ノ平 → 友測 → 白川口駅前															
白川口駅前(発)	三川市	三川市	奥新田(南)	奥新田(北)	中新田	黒測	袴反	中ノ平	下ノ平	下新田	三川市	三川市	三川市	白川口駅前(着)											
7:16	7:19	7:24	7:26	7:31	7:34	7:40	7:47	→	7:50	7:55	8:02													7:00	
13:20	13:23	13:28	13:30	13:35	13:38	13:44	13:51	→	13:54	14:00															8:59
14:50	14:53	14:58	15:00	15:05	15:08	15:14	15:21	15:27	15:35	15:40	15:47														8:59
17:40	17:43	17:48	17:50	17:55	17:58	18:04	18:11	→	18:14	18:20															14:40
18:40	18:43	18:48	18:50	18:55	18:58	19:04	19:11	→	19:14	19:20															16:33
												15:47	15:52	15:54	→	15:58	16:08	16:11	16:16	16:22	16:23	16:27	16:33		

の区間については、降車のお客様がおみえになるバス停まで運行いたします。

平日		蘇 原 線																						
白川口駅前 → 友測 → 上屋敷 → 切井 → 鹿折橋										鹿折橋 → 切井 → 上屋敷 → 友測 → 白川口駅前														
白川口駅前(発)	白川中	三川市	三川市	下赤河	病院前	上屋敷	観音口	切井	鹿折橋(南)	鹿折橋(北)	切井	観音口	上屋敷	病院前	下赤河	三川市	三川市	白川中	白川中	三川市	三川市	白川中	白川中	
9:30	9:33	9:38	9:40	9:43	9:46	9:48	9:52	9:55	10:00	10:00	10:02	10:04	10:08	10:10	10:14	10:19	10:20	10:24	10:30					
13:20	13:23	13:28	13:30	13:33	13:36	13:38	13:42	13:45	13:50	13:50	13:52	13:54	13:58	14:00	14:04	14:09	14:10	14:14	14:20					

バス車内で すく〜るホルデー 発売中!!
学校休日1日乗り放題!

小学生、中学生、高校生 **きつぷ** **限定発売 510円**
(小中高高校生同額)

濃飛バス **安全評価認定「三つ星」**

濃飛バスは、お客様が安心してバス会社を認知できる親切バス事業者安全評価制度認定で「三つ星」の最高評価を受けました。

美濃太田・岐阜方面	下呂・高山方面
5:30 発	5:33 発
6:03 発	6:48 発
6:59 発	8:04 発
8:54 発	8:51 発
10:40 発	10:27 発
12:19 発	10:56 発
14:25 発	13:12 発
16:26 発	14:27 発
18:11 発	16:11 発
19:21 発	16:33 発
20:26 発	16:52 発
21:37 発	17:33 発
23:23 発	18:36 発
	18:51 発
	19:33 発
	20:53 発
	21:23 発
	22:50 発

職場旅行・町内会・各種クラブ活動などお気軽にお問い合わせください。
お問い合わせは、濃飛バス下呂トラベルセンター Ⅰ(0578)25-3014 まで。

【時刻表】 2016年3月以前

ご旅行のご用命は
濃飛バス 下呂トラルセンター
TEL 0576-25-3014

濃飛バス時刻表

美濃白川営業所
TEL 0574-72-1023
平成26年4月1日改正

営業所 → 白川口駅 → 白川病院 → 下油井駅 → 粟林										粟林 → 下油井駅 → 白川病院 → 白川口駅 → 営業所															
運転日	営業所(発)	白川口駅	島	白川病院	JR飯ノ木支店	下油井駅前	陳田	成山	小野	吉田橋	粟林(備)	運転日	粟林(備)	吉田橋	小野	成山	陳田	村君	下油井駅前	JR飯ノ木支店	白川病院	島	白川口駅	営業所(備)	
平日・第1,3,5土曜日		7:02	→	7:08	7:12	→	7:20	7:30	7:38	7:44	7:50	7:58	平日・土曜日	6:10	6:15	6:21	6:27	6:35	6:47	6:55	7:00	→	→	7:13	7:18
平日のみ		9:06	→	9:12									○日・祝日	8:00	8:05	8:11	8:17	8:25	→	8:38	8:43	8:48	→	→	8:56
○毎日	10:20	10:30	→	10:36	10:40	→	10:48	10:58	11:06	11:12	11:18	11:26	平日・第1,3,5土曜日	8:00	8:05	8:11	8:17	8:25	→	8:38	8:43	8:48	→	→	8:56
平日のみ		14:20	→	14:26									平日のみ	11:26	11:31	11:37	11:43	11:51	→	12:04	12:09	12:14	→	→	12:22
○毎日	14:30	14:35	→	14:38	14:42	→	14:50	15:00	15:08	15:14	15:20	15:28	○毎日	11:26	11:31	11:37	11:43	11:51	→	12:04	12:09	12:14	→	→	12:22
平日11V~1/31	16:10	16:15	→	16:21	16:25	→	16:30	16:35					平日のみ	15:30	15:35	15:41	15:47	15:55	→	16:08	16:13	16:18	→	→	16:28
平日2/1~2/31	17:05	17:10	→	17:16	17:20	→	17:25	17:30					○毎日	15:30	15:35	15:41	15:47	15:55	→	16:08	16:13	16:18	→	→	16:28
○土・日・祝	17:30	17:40	→	17:46	17:50	→	18:03	18:13	18:21	18:27	18:33	18:41	平日11V~1/31							16:30	16:35	16:40	→	→	16:53
平日のみ	18:30	18:40	→	18:46	18:50	→	18:58	19:08	19:16	19:22	19:28	19:36	平日2/1~2/31							17:25	17:30	17:35	→	→	17:48

貸切バス・送迎バスのご用命は、濃飛バスへ

白川口駅 → 和泉 → 中川 → 神土 → 越原 → 大明神										大明神 → 越原 → 神土 → 中川 → 和泉 → 白川口駅															
運転日	白川口駅(発)	和泉	水戸野公民館(中川)	中須橋公民館(中川)	五加富士	西洞	東白川役場前	東白川役場前	温泉前	小谷	黒淵	大明神(備)	運転日	大明神(備)	黒淵	小谷	温泉前	東白川役場前	東白川役場前	西洞	五加富士	中須橋公民館(中川)	水戸野公民館	和泉	白川口駅(備)
○毎日	8:56	9:02	9:06	9:09	9:17	9:21	9:22	9:24	9:28	9:32	9:37	9:43	平日・土曜日	6:13	6:16	6:21	6:24	6:28	6:30	6:31	6:36	6:43	6:46	6:51	7:00
○毎日	11:10	11:16	11:20	11:23	11:31	11:35	11:36	11:38	11:42	11:46	11:51	11:57	平日												
○毎日	15:00	15:06	15:10	15:13	15:21	15:25	15:26	15:28	15:32	15:36	15:41	15:47	○日・祝日	8:02	8:05	8:10	8:13	8:17	8:19	8:20	8:25	8:32	8:35	8:40	8:48
平日のみ	16:30	16:36	16:41	16:48	中川								○毎日	9:43	9:46	9:51	9:54	9:58	10:00	10:01	10:06	10:13	10:16	10:21	10:30
○土・日・祝	17:40	17:46	17:50	17:53	18:01	18:05	18:06	18:08	18:12	18:16	18:21	18:27	○毎日	11:57	12:00	12:05	12:08	12:12	12:14	12:15	12:20	12:27	12:30	12:35	12:44
平日のみ	18:40	18:46	18:50	18:53	19:01	19:05	19:06	19:08	19:12	19:16	19:21	19:27	○毎日	15:47	15:50	15:55	15:58	16:02	16:04	16:05	16:10	16:17	16:20	16:25	16:34

白川口駅 → 友測 → 中ノ平 → 袴反 → 中ノ平 → 中新田 → 奥新田										奥新田 → 中新田 → 中ノ平 → 袴反 → 中ノ平 → 友測 → 白川口駅																
運転日	白川口駅(発)	白川中(中ノ平)	三川市(中ノ平)	三川市(中ノ平)	三川市(中ノ平)	河原小(中ノ平)	下新田	下ノ平	中ノ平	袴反	黒淵	中新田	奥新田(備)	運転日	奥新田(備)	中新田	黒淵	袴反	中ノ平	下ノ平	下新田	河原小(中ノ平)	三川市(中ノ平)	三川市(中ノ平)	白川中(中ノ平)	白川口駅(備)
○日・祝 第2,4土曜日	7:35	7:38	7:43	7:45	7:50	7:53	7:59	8:06	→	8:09	8:15			平日・土曜日		6:20	6:22	→	6:26	6:35	6:38	6:43	6:49	6:50	6:54	7:00
平日・第1,3,5土曜日	7:16	7:19	7:24	7:26	7:31	7:34	7:40	7:47	→	7:50	7:55	8:02		平日・第1,3,5土曜日	8:02	8:07	8:09	8:19	8:25	8:34	8:37	8:42	8:48	8:49	8:53	8:59
○日・祝 第2,4土曜日	11:15	11:18	11:23	11:25	11:30	11:33	11:39	11:46	→	11:49	11:55			○日・祝 第2,4土曜日	8:19	8:21	→	8:25	8:34	8:37	8:42	8:48	8:49	8:53	8:59	
平日のみ	13:15	13:18	13:23	13:25	13:30	13:33	13:39	13:46	→	13:49	14:05	15:47		○日・祝 土曜日	12:05	12:07	→	12:11	12:20	12:23	12:28	12:34	12:35	12:39	12:45	
○毎日	14:50	14:53	14:58	15:00	15:05	15:08	15:14	15:21	→	15:27	15:35	15:40		平日のみ	14:05	14:07	→	14:11	14:20	14:23	14:28	14:34	14:35	14:39	14:45	
○毎日	17:40	17:43	17:48	17:50	17:55	17:58	18:04	18:11	→	18:14	18:20			○毎日	15:47	15:52	15:54	→	15:58	16:08	16:11	16:16	16:22	16:23	16:27	16:33
平日のみ	18:40	18:43	18:48	18:50	18:55	18:58	19:04	19:11	→	19:14	19:20															

白川口駅 → 友測 → 上屋敷 → 切井 → 鹿折橋										鹿折橋 → 切井 → 上屋敷 → 友測 → 白川口駅											
運転日	白川口駅(発)	白川中(友測)	三川市(友測)	三川市(友測)	下新田(友測)	下ノ平(友測)	中ノ平(友測)	袴反(友測)	黒淵(友測)	中新田(友測)	鹿折橋(備)	切井(備)	鹿折橋(備)	切井(備)	上屋敷(備)	奥院前(備)	三川市(友測)	三川市(友測)	白川中(友測)	白川口駅(備)	
○毎日	9:15	9:18	9:23	9:25	9:28	9:31	9:33	9:37	9:40	9:45	平日・土曜日	6:30	6:32	6:34	6:38	6:40	6:44	6:49	6:50	6:54	7:00
○毎日	13:15	13:18	13:23	13:25	13:28	13:31	13:33	13:37	13:40	13:45	○毎日	9:45	9:47	9:49	9:53	9:55	9:59	10:04	10:05	10:09	10:15
○毎日	14:40	14:43	14:48	14:50	14:53	14:56	14:58	15:02	15:05	15:10	○毎日	13:50	13:52	13:54	13:58	14:00	14:04	14:09	14:10	14:14	14:20
○毎日	17:40	17:43	17:48	17:50	17:53	17:56	17:58	18:02	18:05	18:10	○毎日	15:10	15:12	15:14	15:18	15:20	15:24	15:29	15:30	15:34	15:40
平日のみ	18:43	18:48	→ 中新田行(備換)	18:53	18:56	18:58	19:02	19:05	19:10												

バス車内で発売中!!
小学生、中学生、高校生専用割引
乗車券 ¥110
学校休日1日乗り放題 ¥1,990

美濃太田・岐阜方面	下呂・高山方面
5:30	5:33
6:12	6:48
7:08	8:05
8:04	8:55
9:04	10:28
9:21	10:57
11:00	13:14
12:25	14:28
12:53	14:54
14:38	16:13
14:54	16:53
16:36	17:33
17:10	18:34
18:12	18:55
19:34	19:34
20:34	20:51
21:44	21:25
23:28	22:49

の区間については、降車のお客様がお見えになるバス停まで運行いたします。

平日		土		曜	
美濃加茂市行	白川口駅行	美濃加茂市行	白川口駅行	美濃加茂市行	白川口駅行
白川口駅(発) 7:13	加茂黒林(発) 18:00	白川口駅(発) 7:13	加茂黒林(発) 13:45	16:50	
古井駅(発) 7:58	加茂高校 18:01	古井駅(発) 7:58	加茂高校 13:46	16:51	
加茂高校 8:02	古井駅(発) 18:05	加茂高校 8:02	古井駅(発) 13:50	16:55	
加茂黒林(備) 8:03	白川口駅(備) 18:40	加茂黒林(備) 8:03	白川口駅(備) 14:25	17:30	

お客さま専用割引
1人乗車 400円
2人乗車 800円
3人乗車 1,200円
4人乗車 1,600円
5人乗車 2,000円
6人乗車 2,400円
7人乗車 2,800円
8人乗車 3,200円
9人乗車 3,600円
10人乗車 4,000円
11人乗車 4,400円
12人乗車 4,800円
13人乗車 5,200円
14人乗車 5,600円
15人乗車 6,000円
16人乗車 6,400円
17人乗車 6,800円
18人乗車 7,200円
19人乗車 7,600円
20人乗車 8,000円
21人乗車 8,400円
22人乗車 8,800円
23人乗車 9,200円
24人乗車 9,600円
25人乗車 10,000円
26人乗車 10,400円
27人乗車 10,800円
28人乗車 11,200円
29人乗車 11,600円
30人乗車 12,000円

美濃太田・岐阜方面
6:03 6:59 8:54 10:41 12:15 14:26 16:27 18:02 19:23 20:24 21:34 23:19
下呂・高山方面
5:43 6:59 8:14 9:12 10:50 13:24 14:45 16:26 17:50 18:43 19:51 21:34 22:58

濃飛バスで行く 安全・安心・快適な旅
職場旅行・町内会・各種クラブ活動など
お気軽にお問い合わせください。
お問い合わせは、濃飛バス下呂トラルセンター TEL(0576)25-3014まで。

安全評価認定「三つ星」
濃飛バスは、お客様が安心してバス乗車をいただけるよう、濃飛バスが認定された安全評価認定「三つ星」に認定されました。

(3) タクシー

地域内のタクシー事業者は1社（株式会社白川タクシー：車両1台、乗務員1人）となっており、極めて脆弱な状況です。タクシーは、バス停まで歩くことが困難な高齢者や障がい者の貴重な移動手段ですが、運賃が高く、タクシー利用に対する周囲の目が気になるといった利用者の思いがあり、住民にとって主要な交通手段とはなっていません。現在、白川町から有償で事務所建物を借り受けたり、人的支援を受けたりしながら、今後の地域の公共交通を担う体制の整備を進めています。

(4) 自治体運営

① スクールバス

白川町は、6台のスクールバスで小学校4校と中学校1校の児童生徒を送迎しています。私立保育園は自費による送迎バスを運行しています。

東白川村は、3台のスクールバスで保育園1園と小学校1校、中学校1校の園児や児童生徒を送迎しています。

②通学支援バス（白川町）、土日祝祭日代替バス（東白川村）

A. 通学支援バス（白川町）

前述の路線バスの運行見直しによって、佐見線、蘇原線沿線の高校生のバス通学が不可能となり、他地域でも土日休日に部活等でバスを利用することができなくなりました。その影響を最小限にとどめるため、新しい公共交通のしくみができるまでの緊急かつ臨時的措置として、白川町では2016年度より、平日・土日祝に高校生のみを対象とした「通学支援バス」を運行しています。

【平成28年度】

地区	区分	運行内容	運行期間	運行回数	登録者数	利用者数	備考
蘇原地区	平日	[朝] 切井6:25発 → 白楽園6:48着 [夕] 白楽園17:49発 → 切井18:12着 ※白楽園～白川口駅は濃飛バス黒川線を利用	H28.4～ H29.3 (12ヵ月)	480回 240日 朝夕各1便	11人	1,440人 朝 1,157人(平均4.8人) 夕 283人(平均1.2人)	運賃：無料（別途、濃飛バス運賃100円） 車両：町リース（10人乗り） 運転手：町嘱託職員 3人
	土日祝	[朝] 切井6:40発 → 白川口駅7:00着 [昼] 白川口駅13:15発 → 切井13:35着	H29.2～ H29.3 (2ヵ月)	13回 8日 朝7便 昼6便	3人	13人 朝 6人(平均0.9人) 昼 7人(平均1.2人)	運賃：無料 車両：町リース（10人乗り） 運転手：シルバー人材センター派遣 2人
黒川地区	土日祝	[朝] 中新田6:20発 → 白川口駅7:00着 [昼] 白川口駅14:30発 → 中新田15:10着	H29.2～ H29.3 (2ヵ月)	34回 17日 朝昼各1便	10人	58人 朝 33人(平均1.9人) 昼 25人(平均1.5人)	運賃：無料 車両：町リース（10人乗り） 運転手：シルバー人材センター派遣 4人

【平成29年度】

地区	区分	運行内容	運行期間	運行回数	登録者数	利用者数（4～5月）	備考
蘇原地区	平日	[朝] 切井6:27発 → 白楽園6:48着 [夕] 白楽園18:49 → 切井19:13着 ※白楽園～白川口駅は濃飛バス黒川線を利用	H29.4～ H30.3	70回 35日 朝夕各1便	8人	224人 朝 143人(平均4.1人) 夕 81人(平均2.3人)	運賃：無料（別途、濃飛バス運賃100円） 車両：町リース（10人乗り） 運転手：町嘱託職員 1人
	土日祝	[朝] 切井6:35発 → 白川口駅7:00着 [昼] 白川口駅14:30発 → 切井14:55着	H29.4～ H30.3	28回 14日 朝昼各1便		11人 朝 8人(平均0.6人) 昼 3人(平均0.2人)	運賃：無料 車両：町リース（10人乗り） 運転手：シルバー人材センター派遣 3人
黒川地区	土日祝	[朝] 中新田6:20発 → 白川口駅7:00着 [昼] 白川口駅14:30発 → 中新田15:10着	H29.4～ H30.3	26回 13日 朝昼各1便	18人	71人 朝 46人(平均3.5人) 昼 25人(平均1.9人)	運賃：無料 車両：町リース（10人乗り） 運転手：シルバー人材センター派遣 4人
佐見地区	平日	[朝] 有本6:20発 → 下油井駅6:54着 [夕] 下油井駅18:48発 → 有本19:19着	H29.5～ H30.3	36回 18日 朝夕各1便	15人	173人 朝 97人(平均5.4人) 夕 76人(平均4.2人)	運賃：無料 車両：町リース（10人乗り） 運転手：シルバー人材センター派遣 7人
	土曜日			6回 3日 朝夕各1便		9人 朝 6人(平均2.0人) 夕 3人(平均1.0人)	

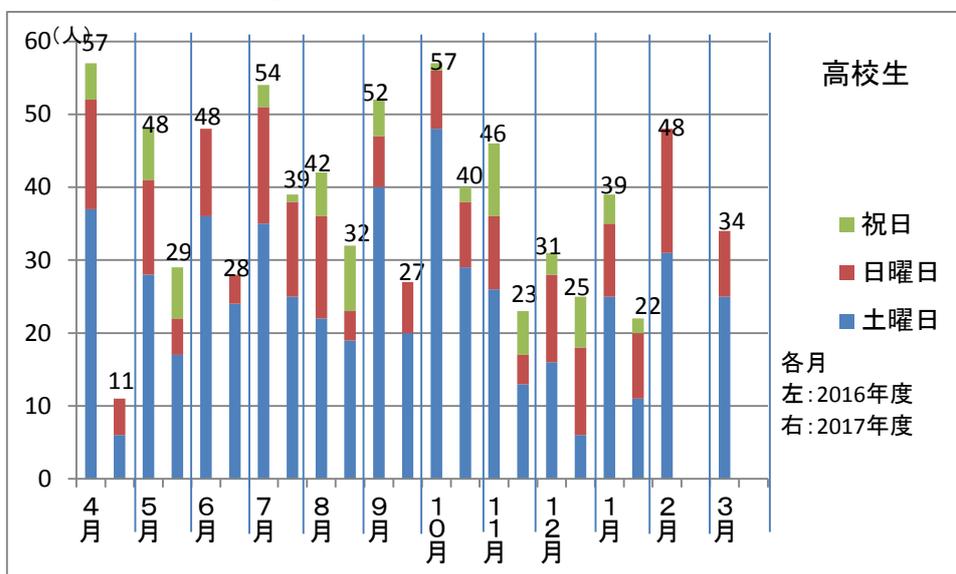
B. 土日祝祭日代替バス（東白川村）

東白川村を通る白川線については平日の運行に影響はありませんでしたが、土日祝日等は運休となったため、「土日祝祭日代替バス（道路運送法第78条第2号に基づく市町村運営有償運送（交通空白輸送）」による送迎を行っています。「土日祝祭日代替バス」は誰でも（住民でなくても）利用可能です。

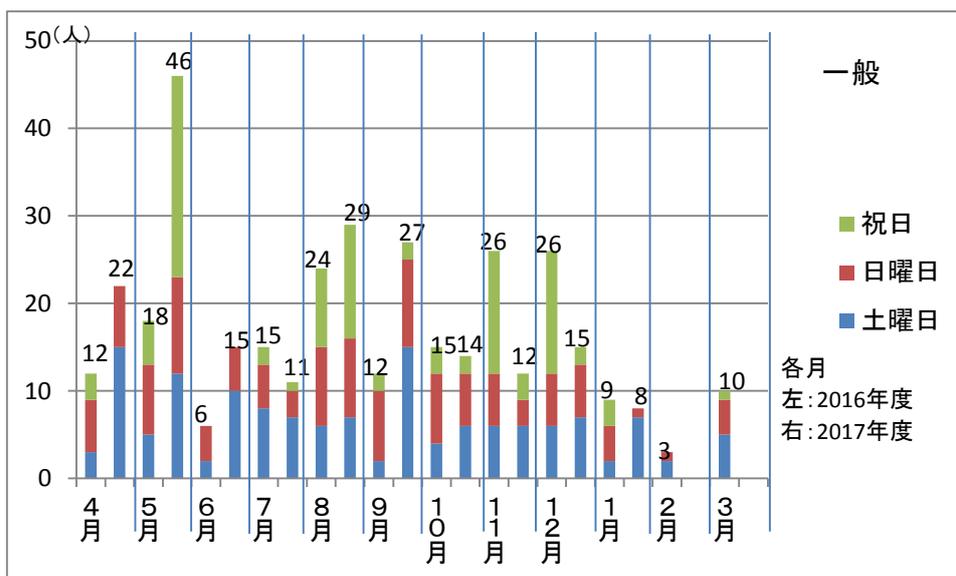
高校生については、土曜日の利用が多く見られます。また、長期休暇期間中も利用されています。美濃加茂方面へ通学する高校生の減少もあり、2017年度には利用者数が大きく減少しています。

一般については、2017年度に利用が増加しています。また、祝日にまとまった利用がみられます。

【利用者数（高校生）】



【利用者数（一般）】



【土日代替バス運行表】



土・日・祝・祭日代替バス運行表

白川口駅行き			大明神行き		
大明神	6:13	15:47	白川口駅	8:56	17:40
大明神口	6:14	15:48	波反	9:12	17:56
黒淵	6:16	15:50	大沢	9:13	17:57
栃山	6:17	15:51	宮代	9:15	17:59
栃山口	6:19	15:53	神矢橋	9:16	18:00
小谷	6:21	15:55	五加富士屋	9:17	18:01
越原消防センター前	6:21	15:55	南北橋	9:18	18:02
藤の木橋	6:22	15:56	大口	9:19	18:03
陰地	6:23	15:57	つちのこ館前	9:20	18:04
温泉前	6:24	15:58	西洞口	9:21	18:05
池の島	6:24	15:58	東白川役場前	9:22	18:06
小学校東口	6:25	15:59	神土平	9:23	18:07
野々尻	6:25	15:59	中学校前	9:23	18:07
小学校西口	6:26	16:00	東白川診療所前	9:24	18:08
白川橋	6:27	16:01	橋場	9:24	18:08
橋場	6:27	16:01	白川橋	9:25	18:09
東白川診療所前	6:28	16:02	小学校西口	9:26	18:10
中学校前	6:29	16:03	野々尻	9:26	18:10
神土平	6:30	16:04	小学校東口	9:27	18:11
東白川役場前	6:30	16:04	池の島	9:27	18:11
西洞口	6:31	16:05	温泉前	9:28	18:12
つちのこ館前	6:31	16:05	陰地	9:29	18:13
大口	6:32	16:06	藤の木橋	9:29	18:13
南北橋	6:34	16:08	越原消防センター前	9:30	18:14
五加富士屋	6:36	16:10	小谷	9:32	18:16
神矢橋	6:37	16:11	栃山口	9:33	18:17
宮代	6:38	16:12	栃山	9:35	18:19
大沢	6:40	16:14	黒淵	9:37	18:21
波反	6:41	16:15	大明神口	9:40	18:24
白川口駅	7:00	16:34	大明神	9:43	18:27

交通事情によって時間は前後します。
区間均一料金200円です。



③福祉バス

A. 社会福祉協議会移送サービス（白川町）

白川町社会福祉協議会は、町内在住で運転免許保有者がいない世帯を対象に、ボランティアによる通院や買い物等の移動支援を実施しています。また、車椅子を利用している方の移動を支援するため、福祉車両の貸し出しも行っています。いずれの場合も利用者はガソリン代の負担で利用することができます。

対象者	運転者	運休日	利用時間
町内に住所を有する ①免許のない老夫婦と一人暮らし高齢者 ②車いす利用者	①登録運転ボランティア(運転歴1年以上) ②家族や親せきなど	・日曜日 ・年末年始	8時30分～ 17時00分

B. 市町村運営有償運送（東白川村福祉輸送）

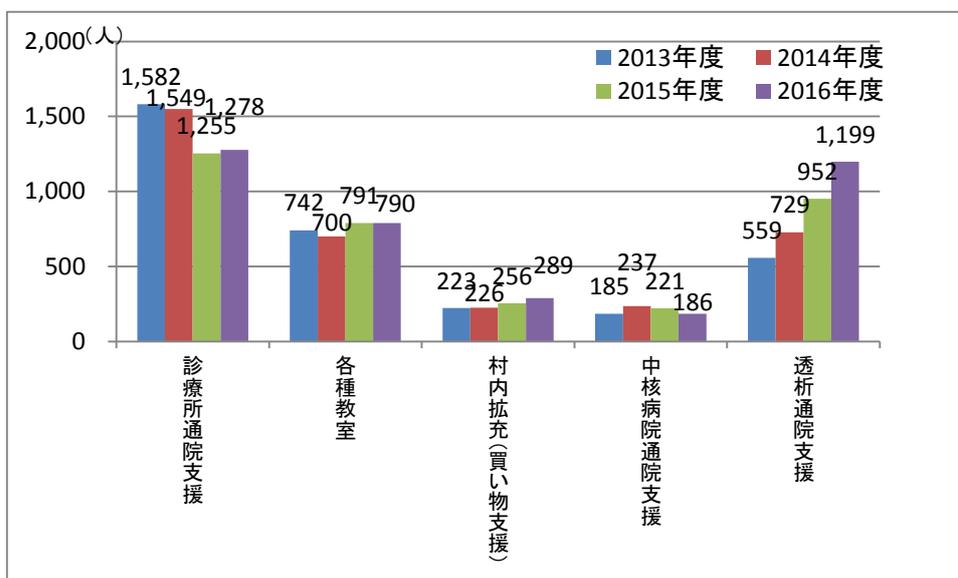
東白川村は、道路運送法第78条第2号の規定に基づき2005年より市町村福祉輸送を実施しています。これは、一般の交通機関の利用困難な高齢者等を、移送用車両を用いて、外出支援の援助を行うことにより、高齢者が健全で安らかな生活を営むことができるよう支援することが目的です。

村内の診療所への通院支援のほか、2010年には透析通院支援（白川病院、下呂温泉病院）、中核病院通院支援（美濃加茂方面、下呂方面）を開始しました。また、2012年からは村内での買い物等の用事先までの送迎へと拡充されています。

各種教室や買い物支援、中核病院通院支援の利用者はほぼ横ばい、透析通院支援の利用者が増加傾向にあります。

対象者	運行内容	運賃	台数	運転手
村内に住所を有する要介護認定者等で、一般交通機関を利用することが困難な者等	①診療所通院支援(月・火・木・金の午前中) ②村内拡充支援(火・木の午後) ③中核病院通院支援(水曜日) ④透析通院支援(月～土)	村内利用往復200円 (村外利用は30分ごとに100円増)	3台	臨時職員 4名

【市町村福祉輸送の利用者数の推移】



④実証運行バス

白川町では、新しい公共交通システムの構築に際し、地域のニーズや運行時の問題点等を把握するために、地方創生推進交付金を活用した実証運行を実施しています（詳細は第3章2. を参照してください）。

	白川	白川北	蘇原	黒川	佐見
組織立上げ時期	2017. 8 月	2016. 11 月	2017. 8 月	2017. 5 月	2017. 3 月
実証運行開始	2017. 9 月	2016. 12 月	2017. 9 月	2017. 7 月	2017. 6 月
試した運行形態	ドアツードア	定時定路線	ドアツードア	定路線 →ドアツードア	定時定路線
利用者 (1日当たり)	午前 6.6 人 午後 3.0 人	午前 4.2 人 午後 4.5 人	午前 2.8 人 午後 1.4 人	午前 3.2 人 午後 2.8 人	午前 2.5 人 午後 2.1 人
運転	タクシー貸切	地域 ドライバー	集落支援員	地域 ドライバー	地域 ドライバー

(5) その他

上記の他、地域内には白川病院や大賀医院が送迎バスを運行しています。

白川病院送迎バス路線図

2013.6.1現在

赤河線(月曜日)



蘇原線(火曜日)



蘇原線(金曜日)



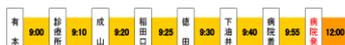
佐見線(水曜日)



佐見線(木曜日)



佐見線(土曜日)



七宗・菅田線(金曜日)



金山線(月曜日)



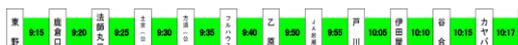
金山線(水曜日)



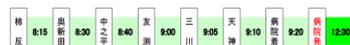
門和佐線(火曜日)



和良線(木曜日)



黒川線(月曜日・木曜日)



広野線(火曜日)



坂ノ白・白山・河東線(水曜日・金曜日)



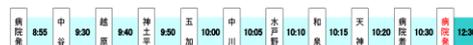
東白川線(月曜日)



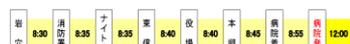
東白川線(水曜日)



東白川線(金曜日)



河岐線(水曜日)



和泉線(月～土曜日)



小川線(月曜日)



天神線(月～土曜日)



医療法人 白水会 白川病院

TEL 0574-72-2222 FAX 0574-72-1701

<http://www.shirakawahp.com/>

E-mail:sirakawa@cronos.ocn.ne.jp

TEL 0574-79-0030

E-mail:sirakawacall@star.ocn.ne.jp

歯科(専用)
診療室

3. 公共交通の利用に対する助成制度

白川町や東白川村は、園児や高校生、障がい者、高齢者といった移動制約者の方の通学や通院、買い物の足の確保のため、バス利用時にかかる様々な助成制度を用意しています。

【公共交通の利用に対する助成制度と利用者数、補助額】

白川町

制度名	対象者	補助内容	運用開始日
保育園バス通園補助金	町内に住所を有し、町内保育園に通園する園児	定期乗車券又は乗車回数券の2分の1	1998年4月
障がい者バス利用補助金 (白川町障害者小規模作業所等交通費助成)	町内に住所を有し、身体障害者手帳等を所持し、路線バス等を利用して障害者小規模作業所等に通う者	交通費実費の2分の1	2016年4月
高齢者バス優待乗車事業	町内に住所を有する70歳以上の者	1乗車100円	2012年4月
高等学校通学費補助金	町内に住所を有する高等学校に通学する生徒で、通学手段としてJRの定期券を白川口駅で購入した者	毎年度予算の範囲内で町長が決定 (2016年度は年間30,000円)	2015年4月

保育園バス通園補助金

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
白川保育園	28	71,850	16	36,150	0	0	0	0
黒川保育園	217	439,380	224	496,440	190	403,200	184	408,420
佐見保育園	141	399,555	150	497,750	130	394,300	120	369,400
合計	386	910,785	390	1,030,340	320	797,500	304	777,820

障がい者バス利用補助金

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
合計	13	42,050	8	24,200	9	22,250	5	17,100

高齢者バス優待乗車事業

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	利用者数	金額(円)	利用者数	金額(円)	利用者数	金額(円)	利用者数	金額(円)
合計	5,897	3,500,000	4,505	3,500,000	3,412	3,500,000	4,795	2,200,000

高校通学費補助金

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	利用者数	金額(円)	利用者数	金額(円)	利用者数	金額(円)	利用者数	金額(円)
合計	—	—	—	—	158	3,106,150	169	5,023,490

東白川村

制度名	対象者	補助内容	運用開始日
高校生通学支援事業補助金	村内に住所を有し、高等学校等(学校教育法に定める専修学校及び各種学校を含む。)へ通学する生徒の保護者	(1) 自宅から自主運行バスを利用して通学する高校生…1ヶ月の定期券又は回数券の代金全額 (2) 自宅から自家用車等を利用して通学する高校生…月額10,000円 (3) 下宿、寮又はアパート等から通学する高校生…月額 5,000円 (4) JRで白川口駅から古井駅・飛騨萩原駅方面へ通学する高校生および機関路線バスで中津川市加子母から飛騨萩原方面へ通学する高校生…月額2千円	(1)(2)(3)2013年4月 (4)2016年4月

東白川村高校生通学支援事業補助金

	2016年度	
	利用者数	金額(円)
自宅通学(バス)	42	2,757,880
自宅通学(自家用車)	20	1,208,000
自宅以外	68	1,830,970

第3章 地域公共交通活性化協議会立ち上げ以後の取組状況

1. 地域公共交通活性化協議会・地域部会

(1) 経緯

当地域において公共交通の維持・改善は従来から課題となっており、白川町・東白川村ともに委託による路線バス維持を行うとともに、前述のように通学・通院など公共交通機関での移動に対する助成金制度など、くらしの足の確保に取り組んできました。また、東白川村では2008年9月に「東白川村地域公共交通会議」を設置し、市町村運営有償運送を実施してきました。

しかし、2016年の路線バス運行見直しを受け、従来の体制では路線維持が不可能であるという認識が広まり、それに対応して白川町が2016年1月に地域公共交通会議を設置しました。そして、白川町と東白川村は、もともと一体的かつ他地域と独立したバス路線網となっており、両町村合同による公共交通システムの構築が、費用効率的に住民の利便性を高めることにつながることから、2016年1月から合同協議会の設置準備を進め、6月24日に「白川・東白川地域公共交通協議会」を設置しました。

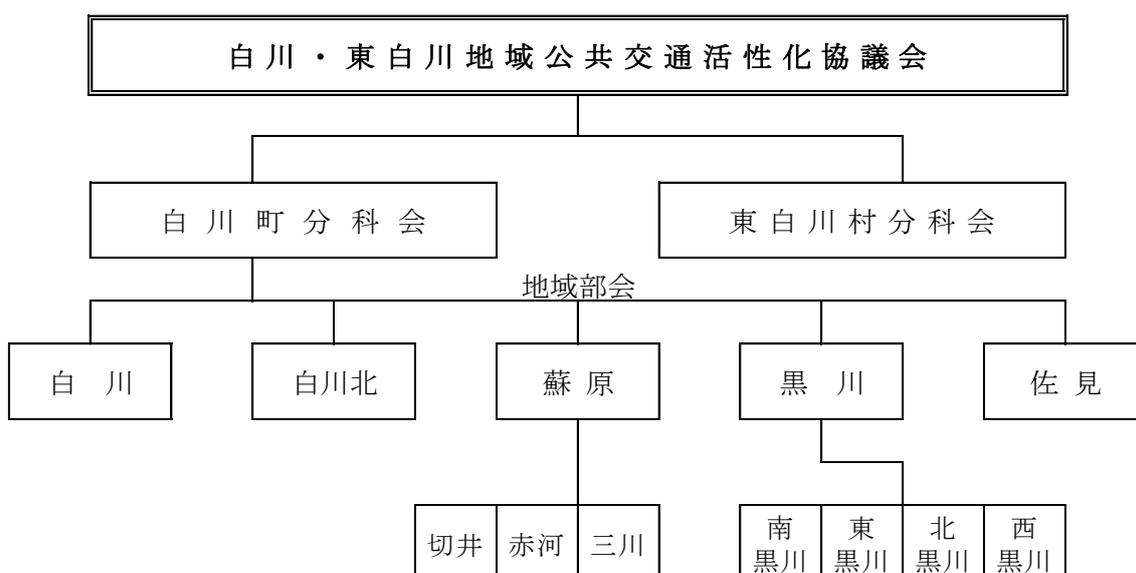
2016年

- | | | |
|-------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月20日 | 【白川町】 | ■白川町地域公共交通会議の開催
・白川町地域公共交通会議設置要綱及び関係規程について
・公共交通の現状、喫緊の課題について |
| 1月25日 | 【東白川村】 | ■東白川村地域公共交通会議の開催
・市町村運営有償運送（交通空白輸送）について |
| 2月上旬 | 【白川町】 | ■通学形態、通学用代替運行利用希望調査の実施
・対象者 高校生 122人、中学生 74人
・代替運行希望者 蘇原地区 9人、佐見地区 0人 |
| 3月11日 | 【白川町】 | ■代替運行利用希望者保護者懇談会の開催 |
| 3月21日 | 【白川町】 | ■白川町地域公共交通会議「地域部会準備会」の開催
・出席者 地域公共交通会議委員、町内各自治協議会長、移送迎サービス実施事業者（社会福祉協議会、サンシャイン美濃白川、白川病院） |
| 4月1日 | 【白川町・東白川村】 | ■濃飛バス減便に伴う代替バス等の運行開始
・白川町 高校生通学支援、高齢者交通手段の確保
・東白川村 土日・祝日運休代替運行 |
| 4月～6月 | 【白川町・東白川村】 | ■地域公共交通会議の書面による開催
・白川町及び東白川村の合同法定会議の設置について
・合同法定会議の設置規約及び関係規程について |
| 5月6日 | 【白川町】 | ■佐見地区公共交通懇談会の開催
・出席者 地域公共交通会議委員、自治協議会長、各自治会長、民生委員、老人クラブ代表、濃飛バス美濃白川営業所、白川タクシー、サンシャイン美濃白川 |
| 5月～6月 | 【白川町】 | ■交通移動制約者調査の実施 ・対象 町内全65自治会 |

(2) 開催内容

白川村・東白川村では、2016年6月に「白川・東白川地域公共交通活性化協議会」を設置し、新しい公共交通システムの構想について検討を進めてきました。

また、地域主導型の公共交通システムの構築のため、行政と地域が対話を重ねる中で「地域の足は地域で守る」という機運が醸成され、地域が自発的に地域部会を立ち上げ、地域の実情に応じた公共交通システムのあり方に関する議論や自主調査、実証運行を実施してきました。



A. 白川・東白川地域公共交通活性化協議会の概要

回・日時・場所	内 容
【第1回】 2016年 6月24日(金) 午前9時30分～ 白川町町民会館 大研修室	報告事項 (1) 白川・東白川地域公共交通活性化協議会設置規約等について (2) 合同法定協議会設置までの経過説明について (3) 濃飛バス減便に伴う代替バス等の対策状況について 協議事項 (1) 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について (2) 地域公共交通計画策定支援業務の委託について その他 (1) 白川町の移動制約者の状況について (2) 東白川村の福祉有償運送の状況について (3) 住民代表委員・民生委員がイメージする「これからの公共交通」
【第2回】 2017年 1月19日(木) 午後3時～ 白川町町民会館 大研修室	報告事項 (1) 公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査について (2) 地域部会等の設置状況について (3) 実証運行の実施状況について 協議事項 (1) 白川・東白川地域公共交通活性化協議会の分科会及び地域部会に関する規程の改正について (2) 新しい公共交通システムの構想について (3) 公共交通の担い手確保対策について
【第3回】 2017年	報告事項 (1) 通学支援バスの利用状況について(白川町)

<p>6月12日(月) 午前9時30分～</p> <p>白川町町民会館</p>	<p>(2) 土日代替バスの利用状況について(東白川村)</p> <p>(3) 地域部会の活動状況及び実証運行の状況について(白川町)</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 平成28年度事業報告及び決算報告について</p> <p>(2) 平成29年度事業(案)及び予算(案)について</p> <p>(3) 夏休み小中学生50円バス実施に伴うバス運賃変更について</p> <p>(4) 白川町・東白川村の新しい公共交通の方向性について</p>
<p>【第4回】</p> <p>2017年 10月18日(水) 午前9時45分～</p> <p>白川町福祉センター</p>	<p>報告事項</p> <p>(1) 夏休み・小中学生50円バスの実施結果について</p> <p>(2) 地域部会の取り組み状況について(白川町)</p> <p>(3) 事業者から提案のあった運行方法の概要について</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 新しい公共交通システムの概要(案)について</p>
<p>【第5回】</p> <p>2018年 1月9日(火) 通知 1月17日(水) 決定</p>	<p>協議事項</p> <p>(1) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について</p>
<p>【第6回】</p> <p>2018年 1月29日(月) 午後1時30分～</p> <p>白川町町民会館</p>	<p>報告事項</p> <p>(1) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について(第5回書面表決の結果)</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 白川・東白川地域公共交通網形成計画について</p> <p>(2) 自家用有償運送の登録申請について</p>
<p>【第7回】</p> <p>2018年 3月28日(水) 午前9時30分～</p> <p>白川町町民会館</p>	<p>報告事項</p> <p>(1) 前回の協議会において協議が整わなかった案件について</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 平成30年度事業計画案及び予算案について</p> <p>(2) 白川・東白川地域公共交通網形成計画について</p>
<p>【第8回】</p> <p>2018年 6月28日(木) 午前9時30分～</p> <p>白川町役場</p>	<p>協議事項</p> <p>(1) 平成29年度白川・東白川地域公共交通活性化協議会事業報告及び収支決算について</p> <p>(2) 白川・東白川地域公共交通網形成計画案に対するパブリックコメント及び対応について</p> <p>(3) 路線網計画について</p> <p>(4) 運賃体系について</p> <p>(5) 白川・東白川地域公共交通網形成計画の策定について</p> <p>(6) 白川線の変更について</p> <p>(7) 白川中央線の新設について</p> <p>(8) 町営自家用有償運送の登録について</p> <p>(9) 濃飛バスの路線廃止について</p> <p>(10) 東白川村有償運送の方向性について</p> <p>(11) 夏休み小中学生50円バス実施に伴うバス運賃の変更について</p> <p>(12) 今後の進め方について</p>
<p>【第9回】</p> <p>2018年 8月29日(水) 午前9時30分～</p> <p>白川町役場</p>	<p>協議事項</p> <p>(1) 運賃体系について</p> <p>(2) 白川・東白川地域公共交通網形成計画案の策定について</p> <p>(3) 町営自家用有償運送の登録について</p> <p>(4) 白川線の変更について</p> <p>(5) 白川中央線の新設について</p> <p>(6) 濃飛バスの路線廃止について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 東白川村有償運送について</p> <p>(2) 今後の進め方について</p>

B.地域部会の取り組み

①白川地区

2017年	
7月18日	自治協議会長打合せ（地域部会の設立について相談）
8月3日	地域部会設立準備会
31日	第1回地域部会（実証運行の取り組みについて）
9月20日	地域部会役員会（広野自治会実証運行について）
21日	広野自治会サロン懇談会（実証運行について）
22日	広野実証運行開始
26日	水戸野自治会サロン懇談会（実証運行について）
28日	田代地区サロン懇談会（実証運行について）
	中川老人クラブ役員会（地域部会の取り組みについて）
10月3日	中野自治協議会役員会（地域部会の取り組みについて）
11日	第2回地域部会（各地区での取り組みについて）
21日	広野自治会役員会（地域部会の取り組みについて）
24日	水戸野自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
	和泉自治会役員会（地域部会の取り組みについて）
	白川口自治協議会役員会（実証運行について）
26日	小原一自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
	中川自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
27日	両神自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
29日	小原二自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
	和泉自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
31日	中野自治協議会実証運行開始
11月1日	和泉自治会実証運行開始
	小原三自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
	下金自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
9日	白川口自治協議会実証運行開始
13日	田代地区実証運行開始
25日	和泉自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
29日	第3回地域部会（実証運行の実施状況、今後の方針について）

②白川北地区

2016年	
9月28日	第1回地域部会（設立会議）
10月17日	地域部会役員会（部会の取組内容の検討）
27日	第2回地域部会（実証運行の検討）
11月10日	地域部会役員会（実証運行内容の検討）
13日	宇津尾自治会にて実証運行説明会
12月8日	宇津尾自治会「ニコニコふれあいバス」実証運行開始
2017年	
1月31日	地域部会役員会（野原・葛牧自治会での実証運行計画について）
2月18日	野原自治会懇談会（実証運行計画について） 葛牧自治会懇談会（実証運行計画について）
3月10日	野原・葛牧自治会「ニコニコふれあいバス」実証運行開始
5月10日	地域部会役員会（油井・村君・新津・小川、広島・大利自治会での実証運行計画について）
14日	大利自治会懇談会（実証運行計画について）
6月7日	広島・大利自治会「ニコニコふれあいバス」実証運行開始
16日	油井・村君・新津・小川自治会「ニコニコふれあいバス」実証運行開始
8月9日	広島自治会懇談会（実証運行について説明）
10日	新津自治会懇談会（実証運行について説明） 小川自治会懇談会（実証運行について説明） 油井・村君自治会懇談会（ニコバス説明会）
12月1日	地域部会役員会（実証運行実施状況の報告、利用者懇談会の打合せ）
5日	ニコバス利用者懇談会
21日	第3回地域部会（実証運行実施状況の報告、今後の予定について）

③蘇原地区

2017年	
6月3日	切井福祉座談会（高齢者等の移動手段について）
16日	赤河福祉座談会（高齢者等の移動手段について）
22日	三川福祉座談会（高齢者等の移動手段について）
7月9日	赤河分会立上げに向けた打合せ
12日	蘇原地区地域部会 赤河分会準備会
17日	第1回赤河分会
8月9日	第1回切井分会

10月25日	日向自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
27日	上赤河自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
	後山自治会サロン懇談会（実証運行の実施について）
11月20日	赤河会懇談会（実証運行について）
12月9日	地域部会役員会（実証運行の状況、運行内容の変更について）

④黒川地区

2017年	
4月21日	自治協議会長打合せ会議（地域部会の設立について）
5月2日	地域部会設立準備会（部会メンバー検討会議）
23日	自治協議会長打合せ会議（各自治協議会での取組について）
23日	福祉座談会（自治協議会ごとに地域部会、実証運行について説明）
～26日	
6月9日	東黒川自治協議会役員打合せ（部会メンバーについて検討）
14日	西黒川自治協議会役員打合せ（部会メンバーについて検討）
15日	南黒川自治協議会役員打合せ（部会メンバーについて検討）
22日	第1回地域部会（設立会議、今後の取り組みについて検討）
7月3日	北黒川住民懇談会（実証運行の取り組みに向けた懇談）
12日	実証運行「黒川ハッピー」運行開始（東黒川自治協議会）
14日	実証運行「黒川ハッピー」運行開始（南黒川自治協議会）
8月1日	実証運行「黒川ハッピー」運行開始（西黒川自治協議会）
3日	実証運行運転手打合せ会議
10月30日	第2回地域部会（実証運行内容の変更について検討）
11月8日	よってこまいか（実証運行について説明）
14日	下之平自治会サロン懇談会（実証運行について説明） 部会役員会（今後の方針について検討）
26日	日面下自治会サロン懇談会（実証運行について説明）
12月6日	部会役員・運転手打合せ会議（今後の方針について検討）
11日	奥新田自治会サロン懇談会（実証運行について説明） 鱒淵自治会サロン懇談会（実証運行について説明）
19日	地域部会役員会

2. 実証運行

白川町では、地域のニーズや運行に際しての問題点等を把握するために、地方創生推進交付金を活用した各地区単位での無償バス実証運行を実施しています。

主な利用は、病院への通院やスーパーなどへの買物となっています。町の中心地区である白川地区で多くの利用者があったことなど、実証運行を実施する中で想定外のニーズがあることも確認できました。

実証運行の実施に当たっては、運転手探し、運行方法の決定、運行ルート、地域への周知、運行の実施など企画運営は地域部会が主体となって行われました。行政は、車両の調達、運転手の雇用、事務手続き等で地域部会をバックアップしてきました。

このように、地域部会が自分ごととして使命感を持って公共交通システム構築のため取り組んだ結果、運転手の確保や住民に理解してもらうことの難しさを実感するとともに、利用者からの「喜び」や「感謝」の言葉から、改めて公共交通の必要性を感じるようになりました。

住民アンケートでは、高齢者の外出行動は午前中が多く午後からは少ないという結果が出ていました。しかし、白川北地区では午前午後の差が少なく、蘇原地区では午前は午後の2倍の利用となっています。黒川地区と佐見地区は午前と午後で行き先が異なる（区内・地区外）ため単純比較はできませんが、新しい公共交通システムの利便性が高ければ外出について従来の行動パターンに縛られないことがうかがわれます。

【実証運行の概要】

地域部会	対象区域	頻度		運行の形態					開始日	備考（特徴等）	
				時間	ルート	乗り場	目的地	午前			午後
白川	広野	毎週	金曜	自由	自由(その都度対応)	自宅またはその付近	白川口・三川	予約に応じて自宅から町内の商店や各施設間を運行 900～1430		9/22	白川タクシー貸切運行委託
	中川・水戸野	"	火曜	"	"	"	"	"		10/31	会員カード制
	和泉	"	水曜	"	"	"	"	"		11/1	12月から曜日に関係なく利用可能に変更。
	白川口	"	木曜	"	"	"	"	"		11/9	
白川北	宇津尾	毎週	木曜	固定	固定	集会所等	白川口・三川	ピアチェーレ経由で白川口 1000～1200	三川(コメリ・マツオカ) 1330～1600	12/8	
	広島・大利	"	水曜	"	"	"	"	ピアチェーレ経由せず白川口 1000～1200	" 1330～1550	6/7	10月から奇数週のみ午後から金山方面へ運行。
	野原・葛牧	偶数週	金曜	"	"	"	"	ピアチェーレ経由で白川口 1000～1200	" 1330～1545	3/10	12月から月・火のみ5人以上の団体が町内を運行。
	油井・村君・新津・小川	奇数週	"	"	"	"	"	"	金山方面 1330～1600	6/16	
蘇原	赤河	毎週	火・金	自由	自由(その都度対応)	自宅またはその付近	白川口・三川	予約状況に応じて何回でも、白川口・三川の目的地と地域を往復 900～1600		9/5	運転は集落支援員
	切井	"	月・木	"	"	"	"	"		9/11	会員カード制
	三川	"	水曜	"	"	"	"	"		10/4	11月から曜日に関係なく利用可能に変更。
黒川	南黒川	毎週	金曜	固定	固定	バス停または路線沿い	中黒川 白川口・三川	中黒川(中切・中之平・椿反)巡回 1000～1100 1120～1135	三川(コメリ)～白川口(駅・Vドラ・金融機関等)1300～1600	7/14	
	北黒川	"	月曜	"	"	"	"	" 1000～1100		7/24	12月から曜日に関係なく、利用可能に変更。
	西黒川	"	火曜	出発時間のみ固定	自由(その都度対応)	自宅またはその付近	"	中黒川の目的地のみ 下新田発 900～	三川・白川口の目的地のみ 小畑発 1300～	8/1	
	東黒川	"	水曜	"	"	"	"	中・東黒川の目的地のみ 奥新田発 930～	三川・白川口の目的地のみ 奥新田発 1330～	7/12	
佐見	全域	毎週	月水金	固定	固定	バス停または路線沿い	町外(下呂・萩原・金山) および 佐見(中心部)	月・金＝金山 (金山駅、ケンキ、ゆったり館、マツオカ) 栗林発800～1303 水＝下呂・萩原 門和佐経由 (下呂温泉病院、下呂駅、萩原パロー) 壺山口発720～1240	JA・郵便局・ふれあいセンター 栗林⇒JA 1310～1320 壺山⇒JA 1400～1436 JA⇒栗林 1440～1451 JA⇒壺山 1530～1606	6/2	町外の目的地も設定 年金支給日は、午前も午後も 地域内循環

【実証運行の利用者数、行き先】

白川		白川北		蘇原		黒川		佐見	
午前便	午後便								
運行日 39	運行日 2	運行日 67	運行日 79	運行日 39	運行日 14	運行日 41	運行日 32	運行日 65	運行日 9
総利用者数 256	総利用者数 6	総利用者数 282	総利用者数 353	総利用者数 108	総利用者数 20	総利用者数 131	総利用者数 88	総利用者数 164	総利用者数 19
1日あたり利用者数 6.6	1日あたり利用者数 3.0	1日あたり利用者数 4.2	1日あたり利用者数 4.5	1日あたり利用者数 2.8	1日あたり利用者数 1.4	1日あたり利用者数 3.2	1日あたり利用者数 2.8	1日あたり利用者数 2.5	1日あたり利用者数 2.1
マツオカ 166	白川病院 4	VTラ 162	マツオカ 322	マツオカ 24	マツオカ 5	JA黒川 65	マツオカ 68	阿部医院 39	JA佐見 9
白川病院 32	白川口駅 2	チャオ 69	コリ 214	熊の島 16	クオレ 4	安江医院 64	コリ 47	金山病院 39	佐見とうふ 9
コリ 26		ピアフェレ 44	VTラ 89	ピアフェレ 9	白川口駅 4	田口歯科 19	VTラ 39	下呂接骨院 18	出張所 1
佐見とうふ 15		七曲 41	チャオ 54	健心 7	コリ 3	出張所 10	東信 2	金山ケンキー 15	
チャオ 6		マツオカ 32	三川地内 11	白川病院 7	柏屋 1	郵便局 10	郵便局 2	金山マツオカ 15	
一カ屋 5		JA白川 29	JA白川 7	坂ノ東地内 6	こめこめ 1	イトケヤ 5	JA黒川 1	金山コリ 9	
楽集館 5		コリ 19	ピアフェレ 7	白川口駅 6	白川病院 1	赤根屋 4	JA三川 1	下呂～金山 7	
ピアフェレ 4		白川口地内 17	楽集館 6	白楽園 5	とどきき庵 1	その他 3	サラダ館 1	ゆったり館 6	
ホハイ 4		役場 16	金山マツオカ 5	たくみ 4	富士屋 1	接骨院 2	白川病院 1	村瀬眼科 5	
JA白川 3		郵便局 16	JA金山 4	とどきき庵 4	リホン 1	ぬいや 2	町民会館 1	金山駅前 4	
町民会館 3		楽集館 14	金山コリ 4	チャオ 3		墓地 1	ワカマツヤ 1	ケースデンキ 2	
役場 3		大共 13	金山病院 4	JA赤河 2		マツオカ 1		近藤病院 2	
金島美容室 2		松葉屋 9	JA三川 2	VTラ 2				JA佐見 1	
サラダ館 2		テイルー 6	テイルー 2	飯盛電気 2				下呂トモ 1	
サンシャイン 2		ハンショウブ 4	役場 2	寿し幸 1				下呂病院 1	
郵便局 2		出張所 4	天神橋 2	コリ 1				中島美容院 1	
VTラ 1		JA坂ノ東 3	金山地内 1	出張所 1				パロー 1	
エルファミゴ 1		天神堂 3	サラダ館 1	町民会館 1				ピア 1	
東信 1		ワカマツヤ 3	ハロー薬局 1					益信 1	
洞雲寺 1		サラダ館 2	松葉屋 1					吉田接骨院 1	
ヤマト運輸 1		柏屋 2	西野米穀 1						
ワカマツヤ 1		桂川商店 1	柏屋 1						
		サンシャイン 1	郵便局 1						
		天神橋 1							
		今井時計 1							
		小島屋 1							
		東信 1							

※白川地区の午後便の利用が少ないのは、運行車両（タクシーの時間貸切運行）の都合により、開始当初は運行時間を9時～正午としたため。その後午後便を求める声があり、12月22日から午後1時から3時までの2時間を追加した。

3. その他（夏休み50円バス）

白川町・東白川村では、2017年度の夏休み期間中の自主運行バスの小中学生の運賃を1乗車50円とする「夏休み・小中学生50円バス」を実施しました。これは、小中学生に日常生活の中でバスを体験してもらうことでバスを身近に感じてもらい、高校進学後等将来のバス利用率向上につなげることを目的としたものです。

結果として、24日間で延べ237人の利用がありました。昨年までは夏休み期間中の利用はほとんどありませんでしたので、ほぼ純増という結果となりました。

運賃の定額や上限、休日限定定期など利用しやすい運賃を設定した上で、行きたい場所、興味のある場所へ行ける乗り物になれば更に利用が見込めるのではないかと、また、同伴する保護者の運賃割引と併せた家族向けのお出かけパックなどを提案することで新しい利用を生み出すことができる可能性があります。

単位:人

	小学生					中学生					合計																												
	佐見	黒川	蘇原	白川	計	佐見	黒川	蘇原	白川	計	佐見	黒川	蘇原	白川	計																								
合計	29	16	32	43	120	13	62	8	34	117	42	78	40	77	237																								
平均	1.2	0.7	1.3	1.8	5	0.5	2.6	0.3	1.4	4.9	1.8	3.3	1.7	3.2	9.9																								
(白川線内訳)	<table border="1"> <tr><td>白川町</td><td>13</td></tr> <tr><td>東白川村</td><td>8</td></tr> <tr><td>町村外</td><td>22</td></tr> <tr><td>計</td><td>43</td></tr> </table>					白川町	13	東白川村	8	町村外	22	計	43	<table border="1"> <tr><td>白川町</td><td>8</td></tr> <tr><td>東白川村</td><td>16</td></tr> <tr><td>町村外</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>34</td></tr> </table>					白川町	8	東白川村	16	町村外	10	計	34	<table border="1"> <tr><td>白川町</td><td>21</td></tr> <tr><td>東白川村</td><td>24</td></tr> <tr><td>町村外</td><td>32</td></tr> <tr><td>計</td><td>77</td></tr> </table>					白川町	21	東白川村	24	町村外	32	計	77
白川町	13																																						
東白川村	8																																						
町村外	22																																						
計	43																																						
白川町	8																																						
東白川村	16																																						
町村外	10																																						
計	34																																						
白川町	21																																						
東白川村	24																																						
町村外	32																																						
計	77																																						

なつ やす げん てい
夏休み限定

最大
93%OFF

しょう ちゅう がく せい えん
小中学生 50円バス

なつやす きかんちゅう しょうがくせい ちゅうがくせい のうひ
夏休み期間中、小学生・中学生は濃飛バスを

どこまで乗っても 1回 50円 で利用できます。

き かん
期間

ねん 7 がつ 21 日(金) ~ 8 がつ 28 日(月)

※土・日・祝日と8月14日(月)、15日(火)は全便運休となります

たいしょうせん
対象路線

しらかわちよう ひがししらかわむら のう ひ せんろせん
白川町・東白川村の濃飛バス全路線
しらかわせん そはらせん くろかわせん さみせん
(白川線・蘇原線・黒川線・佐見線)

なつやす かぞく ともだち
夏休みは家族、友達と
いっしょ で
一緒にバスで出かけよう！



～ 保護者の方へ ～

- ・小学生低学年はできるだけ保護者同伴でご利用ください。
- ・子どもだけで乗車させる場合は、保護者の責任で「川遊び」等、子どもだけで危険な場所に絶対に行かないようにご配慮願います。

お問い合わせ

- 白川町役場企画課企画係 72-1311 ■東白川村役場総務課企画係 78-3111
- 濃飛乗合自動車(株)美濃白川営業所 72-1023

第4章 公共交通の利用実態・ニーズ把握に関する調査

1. 住民アンケート

(1) 調査概要

公共交通の利用状況や意識を把握し、施策検討・実施の基礎資料とするため15歳以上の住民全員を対象とした調査を実施しました。

全体について地区別、年代別に集計・分析した結果を整理し、また、主な利用者層（ターゲット）である高校生や高齢者（免許非保有者）の特徴について地区別に整理しました（調査票、調査結果は付属資料を参照してください）。

調査時期	平成28年8月
調査対象	白川町・東白川村在住の15歳以上全員
調査方法	自治会を通じ各戸に配布・回収（回収率 白川町94% 東白川村56%）
有効回答	6,848（白川町5,729 東白川1,119）

属性	性別/年齢/職業/免許の有無/免許の種類/同居人数/家族構成/居住地
普段の外出	頻度/目的/目的地/出発時間/帰宅時間/主な交通手段等
鉄道の利用状況	利用頻度/利用駅/駅までの交通手段/目的地
路線バスの利用状況	認知度/利用頻度/バス停までの交通手段/利用目的/利用したくなる理由等
病院バス	認知度/利用頻度等
タクシー	利用頻度/乗車場所/許容金額/目的地
公共交通全般	路線バスの満足度/利用しづらい理由/日常生活への影響/バスと鉄道の乗り継ぎ等
公共交通政策	各種補助制度の認知度/財政負担に対する考え方等
その他	運転手の希望/家族の送迎/家族以外の送迎/自家用車の利用等

(2) アンケートの要約

A. ふだんの外出

【全体】

・「自家用車・バイク（自分で運転）」が69.7%、送迎・同乗を含めると87.1%が自家用車を利用しており、路線バスの利用は2.6%と主な交通手段とはなっていません。ただし、高校生についてはJRや路線バス、高齢者については福祉支援バスや路線バス等が主な移動手段であるとの回答もみられます。

・自家用車・バイクの利用をやめることが困難な理由としては「バス・鉄道だけでは目的地に行けない（53.7%）」「バス・鉄道の時間が合わない（44.4%）」が多くなっています。

【高校生】

・高校生は、自家用車（送迎）や路線バスで駅まで向かい、JRを利用して通学しています。黒川地区、蘇原地区、東白川村で路線バスを利用し駅まで向かっているとの回答がみられます。

・高校生の外出回数は、7日/週（71.4%）が多くを占め、6日/週（23.3%）と合わせると土日休日も何らかで外出しているため、路線バスの土日運休の影響は大きいものと想定されます。

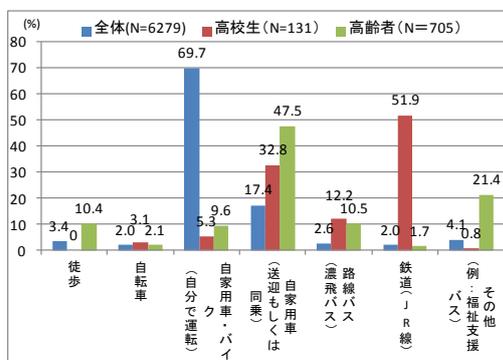
・高校生の外出時間について、朝は6時台（83.2%）が多く、夕方は19時台（41.7%）、18時台（18.2%）、17時台（15.9%）、20時台（11.4%）となっています。

【高齢者】

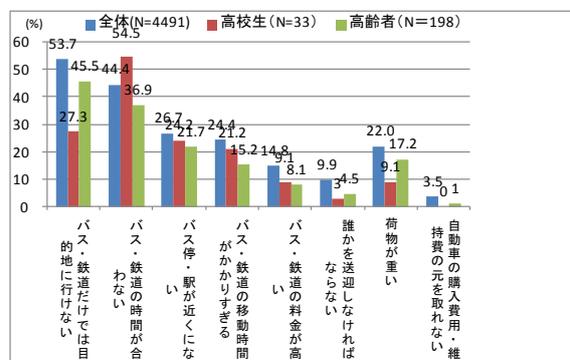
・高齢者の外出目的は、「通院（44.9%）」「買い物（36.4%）」が多くなっています。

・高齢者の外出時間について、朝は8時台（29.7%）、9時台（28.3%）が多く、帰宅は昼の時間帯（11時台（18.6%）、10時台（15.1%））と午後の時間帯（16時台（17.2%）、15時台（11.0%））に分かれています。

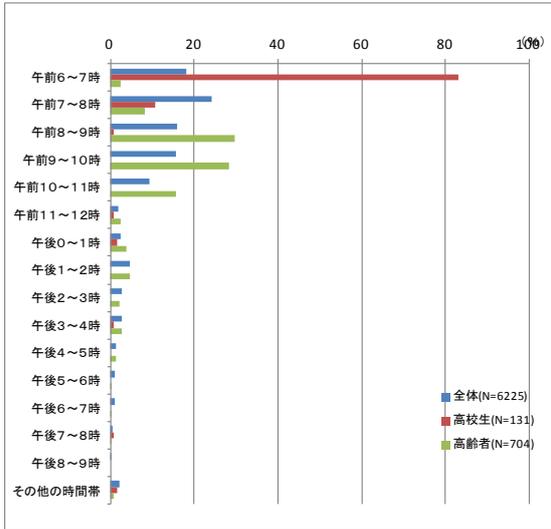
【普段の外出の主な交通手段】



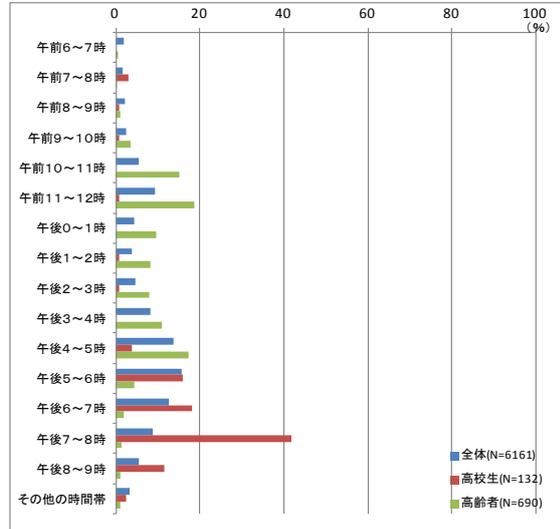
【自家用車等の利用をやめるのが困難な理由】



【外出時間（行き）】



【外出時間（帰り）】

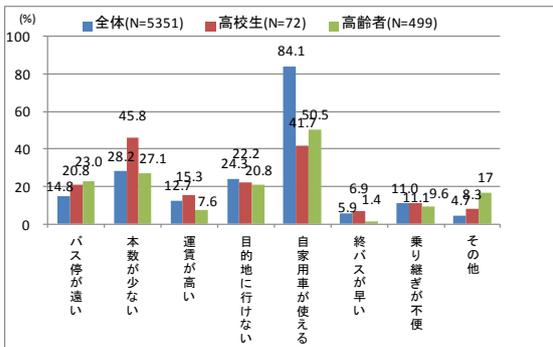


B. 域内の公共交通（路線バス等）

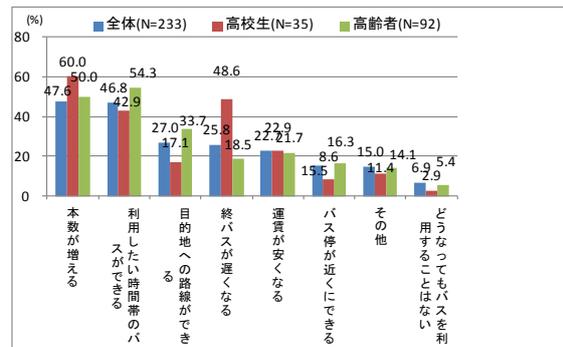
【路線バス】

- ・路線バスの認知度は 97.4%と非常に高くなっていますが、多くは「自宅の最寄りバス停の場所 (81.3%)」「自宅の最寄りバス停の名前 (63.7%)」までで、「路線 (32.6%)」「ダイヤ (15.1%)」「行くことができる施設 (10.5%)」「運賃 (7.6%)」の認知度は低くなっています。
- ・路線バスを利用しない理由としては「自家用車が使え (84.1%)」「本数が少ない (28.2%)」「目的地に行けない (24.3%)」の回答が多くなっています。
- ・利用したいと思うには「本数が増える (47.6%)」「利用したい時間帯のバスができる (46.8%)」の回答が多くみられます。また上記のほか、高校生では「終バスが遅くなる (48.6%)」、高齢者では「目的地への路線ができる (33.7%)」の回答が多くなっています。

【路線バスを利用しない理由】



【路線バスを利用したいと思うには】



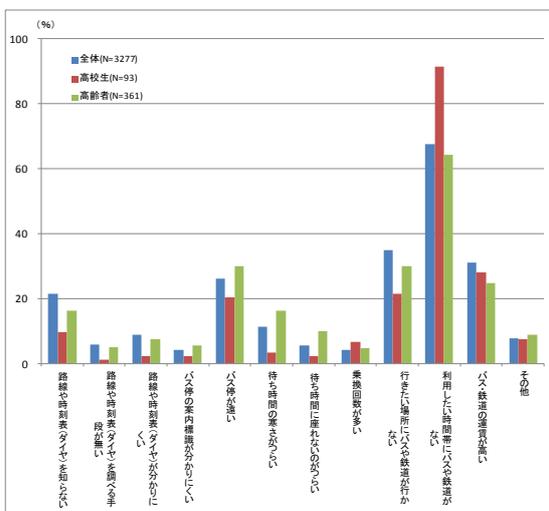
【病院バス】

・高齢者における、病院バスの認知度は 96.2%、約半数が「利用経験あり」と回答しています。

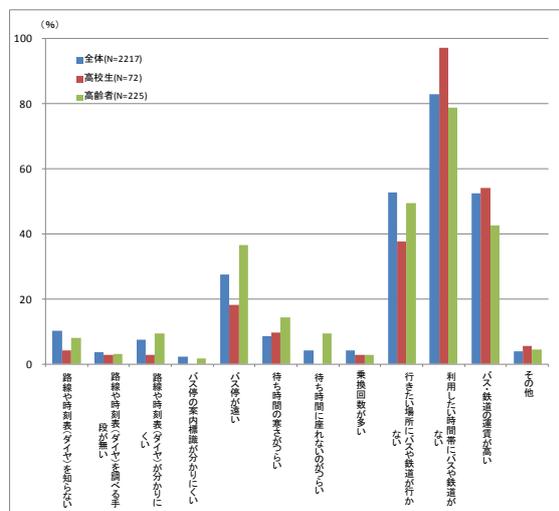
【公共交通体系について】

- ・路線バス交通体系への満足度は「どちらでもない」が 73.2%を占めています。
- ・公共交通は、67.6%が「利用しづらい」と感じています。理由としては「利用したい時間帯にバスや鉄道がない (67.5%)」「行きたい場所にバスや鉄道が行かない (34.9%)」「バス・鉄道の運賃が高い (31.0%)」が上位となっています。
- ・改善の優先度として「利用したい時間帯にバスや鉄道がない (83.0%)」「行きたい場所にバスや鉄道が行かない (52.8%)」「バス・鉄道の運賃が高い (52.4%)」ことが上位となっています。
- ・バスと鉄道の乗り継ぎで重要なこととして「待ち時間が短い (57.7%)」の回答が多くなっています。

【公共交通が利用しづらい理由】



【改善の優先度】



(3) 高校生・高齢者（免許非保有者）の特徴

主なターゲットである高校生・高齢者（免許非保有者）の特徴を地区別に整理しました。

【地域別高校生の主な特徴】

	白川	白川北	蘇原	黒川	佐見	東白川
通学手段	JR	JR	路線バス JR	路線バス JR	JR	路線バス JR
利用駅	白川口駅	白川口駅 下油井駅	白川口駅	白川口駅	下油井駅 美乃坂本駅	白川口駅
公共交通利用 までの交通手段	駅まで送迎	駅まで送迎	駅まで送迎 バス停まで徒歩、 送迎	駅まで送迎 バス停まで徒歩、 送迎	駅まで送迎	駅まで送迎 バス停まで徒歩、 送迎
出発時間	6時台	6時台	6時台	6時台	6時台	6時台
帰宅時間	概ね17～20時台 19時台が最多	概ね16～20時台 19時台が最多	概ね17～20時台 19時台が最多	概ね16～20時台 19時台が最多	17～19時台 17時台が最多	17～19時台 19時台が最多
路線バスの利用	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	利用者もいる	利用している	ほとんど利用無し	利用している
要望等	—	—	終バスが遅くなる	本数増加 終バスが遅くなる	—	本数増加 運行時間帯

【地域別高齢者の主な特徴】

	白川	白川北	蘇原	黒川	佐見	東白川
おでかけ先	通院 買い物	通院 買い物	通院 買い物	通院 買い物	通院 買い物	通院 買い物
お出かけ回数	週2日が最多	週2日が最多	週2日が最多	週2日が最多	週2日が最多	週2日が最多
出発時間	概ね7～10時台 9時台が最多	概ね7～10時台 9時台が最多	概ね6～10時台 8時台が最多	概ね7～10時台 8時台が最多	概ね7～10時台 8時台が最多	概ね7～10時台 9時台が最多
帰宅時間	概ね10～16時台 15時台が最多	概ね10～16時台 10、11、15時台が 最多	概ね10～12、14～ 16時台 11時台が最多	概ね10～17時台 16時台が最多	概ね10～16時台 11時台が最多	概ね9～11、14～ 17時台 10時台が最多
外出手段	自家用車(送迎等) 福祉支援バス等	自家用車(送迎等) 福祉支援バス等	自家用車(送迎等) 福祉支援バス等	自家用車(送迎等) 福祉支援バス等	自家用車(送迎等) 路線バス 福祉支援バス等	自家用車(送迎等) 福祉支援バス等
鉄道の利用	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し
路線バスの利用	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し 利用する人もいる	ほとんど利用無し 利用する人もいる	ほとんど利用無し
要望等	本数増加	利用したい時間帯	本数増加	利用したい時間帯	本数増加	本数増加 運行時間帯
タクシーの利用	利用あり	利用あり	利用あり	利用無し	ほとんど利用無し	ほとんど利用無し

(4) アンケートから浮かび上がった問題点

アンケートからは、

①公共交通の利便性が低いとされていること、②住民の公共交通への関心が低いこと、といった問題点が浮かび上がりました。

①公共交通の利便性が低いとされていること

「公共交通は利用しづらい」が7割弱の回答を占めました。理由として「利用したい時間帯にバスや鉄道がない」「行きたい場所にバスや鉄道が行かない」の他、白川北、蘇原地区では「バス停が遠い」との回答もみられました。改善点の優先度は、上記三つに加え「運賃が高い」の回答がみられました。

また、バスと鉄道の乗り継ぎで重要なこととして「待ち時間が短い」との回答が多数を占めました。主な路線バス利用者の要望として、10代（高校生）は「本数が増える」「終バスが遅くなる」の回答がみられました。

②住民の公共交通への関心が低いこと

路線バスへの満足度「どちらでもない」が7割強を占めています。また、路線バスの「ダイヤ」「運賃」「行ける場所」の認知度が15%以下と路線バスに対する関心の低さがうかがわれました。これが、自家用車をやめることができない理由、路線バスを利用しない理由として、「目的地に行けない」との回答に繋がっている可能性があります。

また、高校生の通学定期補助、路線バス運賃の割引制度助成制度（白川町）、村営有償運行（東白川村）の認知度は3分の1程度でした。こうした助成制度を知らないまま、町村外へ転出している層も存在している可能性があります。

そのため、まずは主な利用者層である高校生と高齢者にターゲットを絞り、この層の利用率を高めるための路線、ダイヤ、運賃体系、運行形態を検討していく必要があると考えています。

また、引き続き、地域公共交通の必要性についての住民への啓発活動を続けるとともに、バスの行先や乗り方を分かり易く説明したパンフレットやバスマップなどで行きたい場所に行けることを伝えたりすることや、助成制度の対象者に対して様々な機会を通じ制度の趣旨や内容を伝えていくことが必要と考えています。

2. 地域部会でのヒアリング調査

前述（第3章1.（2）B.）の通り、「地域の足は地域で守る」という機運が醸成され、地域部会が主体となって実証運行などを実施してきました。また、地域部会では、住民のニーズを汲み取るため、自治会への説明、利用者懇談会の開催などを積極的に開催してきました。

○白川地区

A.現状

- ・東信が移転して県道を渡らなくてはいけなくなったが車が多く、怖くて渡れない。
- ・一人暮らしの高齢者は、歩いてVドラッグと行商で何とか必要なものを買っているが、お肉や魚が欲しいときは、子どもに買ってきてもらうが頼みづらい。
- ・食べ物をVドラッグで買っているが肉野菜がないので、夕飯は毎日サンシャインのお弁当を頼んでいる（日曜日はない）。
- ・同じ白川口でも商店に近いところは良いが、遠いところは買い物にも困る。
- ・白川病院に通院しているが診察前に血液検査がある日は8時台に病院に行く必要がある。
- ・月に2回、有本整形へ通院している。行きは、白川口駅9：05発に間に合う濃飛バスを利用している。帰りは白川口駅13：13着から濃飛バスに乗って帰る。

B.感想・要望

- ・今はバス停まで歩いていけるが、数年後も歩いて行けるかわからない。家まで送迎してもらえることはありがたい。
- ・視力が低下して免許の更新ができなかった。急に運転できない状況になる。どうしていいか分からなくなる。元気なうちに使わないといけない。
- ・実家の母が整体まで使わせてもらっている。それまでは家から出ることはほとんどなく、出かけだしてから足つきがよくなった。家まで送迎してもらえるので出かけやすくて助かっている。
- ・高齢者も19時台のJRで帰ってくることもある。JRの帰りに合わせて運行があるとありがたい。
- ・週1回、決まった曜日しか利用できないのは不便。曜日を増やしてほしい。
- ・商店の広告、チラシなどの割引サービスのある日に買い物に行きたい。
- ・白川口駅を午前9時05分に発車する列車に間に合うように運行してほしい。
- ・白川病院へ午前9時に着けるようお願いしたい。
- ・午前中だけでなく午後からも利用できるように運行時間を延長してほしい。
- ・早くお金を払いたい（無料で乗せてもらうことが申し訳ない）。
- ・本当にありがたい。できるだけ皆で乗り合って利用する等、ムダのない運行に協力したい。

- ・近所で連れ合っけて利用し、出かけてほしい。家にこもってしまう人を減らしたい。
- ・地区ごとで曜日を決めているが、その曜日以外にも利用したい人もいるので、できれば乗車させてあげたい。(白川タクシー)

○白川北地区

A.現状

- ・定員オーバーの場合は、運転手さんをお願いして、違う時間帯の便で対応している。
- ・足が不自由な人への対応はどうか。
- ・今は町外に住んでいる家族がたまに来てくれるので、そのときに用事をすませることができている。
- ・免許をもっていない人は、近所の免許をもっている人に頼んで乗せてもらっている。

B.感想・要望

- ・広島・大和・宇津尾の利用が多いということはそれだけ困っているということ。
- ・1往復300円程度。回数券もあればありがたい。
- ・たまにはJRの帰りに白川口駅から家まで乗りたい。
- ・町内の商店で利用者(カード保有者)への割引を考えているお店もある。
- ・人数によってはタクシー方式で良いかもしれない。
- ・地区ごとに運行方式を決める必要あるが、経費が大きく違うと運行回数等を検討する必要がある。
- ・緑ナンバーではできない部分(荷物の運搬等)を白ナンバーで対応する。ただし、運行管理は緑基準で行いたい。

○蘇原地区

A.現状

- ・自分で車を運転できない人は、買い物も近所の人に頼んで連れて行ってもらうが、頼みにくい。
- ・家族であっても、車に乗せていってもらおうと時間を気にして、ゆっくり買い物をすることができない。
- ・普段はバイクを利用しているが、冬場は道が危なくて外出を控える。

B.感想・要望

- ・時間を気にせずに買い物できることが本当にうれしい。
- ・たくさん買い物をしても家の前まで送ってもらえるので助かる。
- ・みんなと出かけられることが楽しい。買い物以外にも利用したい。
- ・人に頼まず、出かけられるようになったのでありがたい。
- ・予約も慣れれば簡単なので利用しやすい。

- ・こういったサービスがあれば、免許を更新しなくてもいい。
- ・本当にありがたいが、一人で乗るときは悪い気がする。

○黒川地区

A. 現状

- ・黒川には中心部に医院や農協、郵便局、商店もあり、実証運行を利用する人の半数以上が黒川地内で利用している。
- ・4月から黒川の中の歯科医がなくなってしまう。

B. 感想・要望

- ・東地区は水曜日が定着。週1回でも来てくれるのはありがたいとの声。
- ・東地区の方を乗せて、西地区も回って欲しいとの要望あり。
- ・運転手さんが荷物まで運んでくれるのでありがたい。
- ・運転手さんが地域の人なので安心できる。
- ・土日もたまには利用する。

○佐見地区

A. 現状

- ・上佐見は下呂への意識、下佐見は金山への意識が高い。
- ・自家用車の保有をやめた利用者もいる。
- ・イコカー利用のほとんどが病院等への通院。その帰りに買い物をしている。
- ・濃飛バスを利用して下油井駅や白川病院へ通っている人もいる。
- ・まだまだ実証運行を知らない人も多い。

B. 感想・要望

- ・乗車する場所について、ドア to ドアを望む声が多い。
- ・巡回ルートは増便の希望あり。
- ・白川病院の送迎バスは曜日や時間が合わないこともあるため、白川方面への希望もある。
- ・予約方法や利用のしかたがよくわからない。
- ・自宅から病院まで通院に利用できて本当にありがたい。

第5章 地域公共交通に関する課題の整理

第1章から第4章を踏まえ、地域公共交通に関する課題を以下の通り整理しました（丸数字は課題の番号です）。

<p>第1章4. 計画の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画・関連計画…「公共交通等地域の足の確保」ネットワークが強化されたコンプレックスな暮らしづくり「地域住民主導で課題解決に取り組み」② 	<p>第2章1. 地域環境の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総面積は324.99㎢と広大で多くを森林が占め、谷筋に集落が点在① ・人口は約1万人、高齢化率は42.8%と高齢化が進展し、将来的にも一層の人口減少の予測① ・高校生は、JRを利用した美濃加茂市、可児市方面への通学が多数① 	<p>第2章2. 公共交通の現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR高山本線白川口駅の利用は2014年度の6.7万人を底に増加して転じる① ・路線バスの利用は2017年約5.1万人と減少傾向① ・路線バスは、運転手不足により2016年4月から「土日祝運休」「大幅減便」等運行見直し①② ・現行の路線バスの運賃体系は160円～140円と長区間利用者にとっては大きな負担③ ・タクシー事業者は地域内に1社（車両1台）と、地域の公共交通を担うには脆弱な体制② ・白川町6台、東白川村3台のスクールバスが運行② ・地域内には、社会福祉協議会のバスや病院バス、市町村運営有償運送（東白川村）が運行② 	<p>第3章 実証運行等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のおでかけは午前中が多数だが、白川北地区では午後便も利用①② ・高齢者は、通院や買い物での利用が多数①② ・白川地区でも多くの利用者があるなど全ての地区で利用ニーズあり①② ・実証運行では地域部会が主体となり、運転手探しから運行方法の決定、地域への周知を実施②③ ・夏休み50円バス「は24時間で延べ237人が利用③
<p>第4章1. 住民アンケート</p> <p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出する際の主な交通手段は、送迎・同乗を含め87.1%が自家用車を利用③ ・路線バスは93.7%が「ほとんど利用しない」と回答③ ・路線バス運賃体系への満足度は「どちらでもない」が73.2%を占める③ ・公共交通は、67.6%が「利用しづらい」と回答① ・理由としては「利用したい時間帯にバスや鉄道の運賃が高い（67.5%）」「行きたい場所へバスや鉄道が行かない（34.9%）」「バス・鉄道の運賃が高い（31.0%）」が上位①③ ・改善の優先度として「利用したい時間帯にバスや鉄道がない（83.0%）」「行きたい場所へバスや鉄道が行かない（52.8%）」「バス・鉄道の運賃が高い（52.4%）」が上位①③ <p>【高校生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生は、自家用車（送迎）や路線バスで駅まで向かい、JRを利用して通学① ・黒川地区、藤原地区、東白川村では路線バスを利用して駅まで向かっている① ・高校生の外出回数は、7日（71.4%）が多くを占め、6日（23.3%）と合わせて土日休日も何らかいで外出しているため、路線バスの土日運休の影響は大きい① ・高校生の外出時間について、朝は6時台（83.2%）が多く、夕方は19時台（41.7%）、18時台（18.2%）、17時台（15.9%）、20時台（11.4%）と回答① ・高校生が路線バスを利用したいと思うには「本数が増える（60.0%）」「終バスが遅くなる（48.6%）」「利用したい時間帯のバスができる（42.9%）」との回答が多数①③ <p>【高齢者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出目的は、「通院（44.9%）」「買い物（36.4%）」が多数① ・外出する際の主な交通手段で「路線バス」とした回答は10.5%にとどまり、約8割が「ほとんど利用しない」と回答① ・高齢者の外出時間について、朝は8時台（29.7%）、9時台（28.3%）が多く、帰宅はお昼の時間帯（11時台（18.6%）、10時台（15.1%））と午後の時間帯（16時台（17.2%）、15時台（11.0%））に分かれる① ・高齢者が路線バスを利用したいと思うには「利用したい時間帯のバスができる（54.3%）」「本数が増える（50.0%）」「目的地への路線ができる（33.7%）」の回答が多数①③ ・高齢者における病院バスの認知度は96.2%で、約半数が利用経験あり② 			
<p>第4章2. 地域部会でのヒアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボートボツの利用、JRの時刻表に合わせた運行を希望する声が多く① 			
<p>地域公共交通に関する主な課題</p> <p>課題1 住民の需要やニーズに応じた公共交通サービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、日常の移動においては自家用車の利用が多くなっています。しかし、今後の高齢化の進展により、自家用車での移動が困難となる状況が予想されます。免許を返納した高齢者でもおでかけが可能となる公共交通サービス提供が求められています。 ・路線バスの減便や土日休日全面運休により、特に高校生の通学に支障が生じ、家族で転出する事例も出ています。高校生が自宅通学できる公共交通サービスの提供が求められています。 			
<p>課題2 持続可能な公共交通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証運行をきっかけに各地区で公共交通地域部会が立ち上がり、地域として主体的に公共交通に関わろうという意識ができています。 ・タクシー事業者における本格的な旅客運送会社化の動きや病院バスの活用の動きが出ています。 ・地域、事業者、行政が三位一体で公共交通システムを「つくり」「守り」「育てる」仕組みづくりが求められています。 			
<p>課題3 公共交通の必要性の理解と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の多くの住民にとって、公共交通は身近な存在ではなっています。地域の将来を見据えた場合、いつまでも住み続けられる地域となるためには、公共交通の存在は必要不可欠となります。 ・地域でつくりあげた公共交通システムを多くの住民・来訪者に知らせてもらい、利用してもらうための仕組みづくりが求められています。 			

第6章 白川・東白川地域公共交通網形成計画の基本方針・目標

1. 計画の基本方針

白川・東白川地域の公共交通網が、地域住民や来訪者のニーズを効率的に満たすようにすることはもとより、白川町第5次総合計画におけるまちの将来像「水源の里の恵みいっぱい 活力みなぎる人たちが暮らすまち 美濃白川」、東白川村第5次総合計画におけるむらの将来像「豊かな自然と 美しい景観に包まれて 人がかがやく 地域力のあるむら ひがししらかわ」を実現することを念頭に、公共交通分野における基本方針を以下の通り決めました。この基本方針に基づき、地域、事業者、行政の三位一体で公共交通システムを「つくり」「守り」「育てる」仕組みづくりを進めていきます。

基本方針1 地域組織が中心となり「地域の」「地域による」「地域のための」公共交通システムをつくります

地域で公共交通システムを「つくります」

・路線バスの減便や土日休日全面運休により、特に高校生の通学に支障が生じ、送迎などの家族の負担も相まって家族で転出する事例も出始めています。この状況を改善し、**高校生が自宅通学できる公共交通システムをつくります。**

・日常の移動においては自家用車の利用が多くなっています。しかし、今後の高齢化の進展により、自家用車での移動が困難となる状況が予想されます。たとえば、**免許を返納した高齢者でも買い物や通院などのおでかけができる公共交通システムをつくります。**

・いつまでも住み続けられる地域となるために、**どの集落からも買い物場所や駅など「いくつかのモードを組み合わせて行きたい場所に自分で行ける」公共交通システムをつくります。**

基本方針2 いつまでも住み続けられるための暮らしの足を確保します

地域で公共交通を「守ります」

・実証運行をきっかけに各地区で公共交通地域部会が立ち上がり、運行内容や運転手の確保、地域への周知など地域の交通システムについての話し合いが進められています。地域が主体的に公共交通に関わろうという意識が醸成されつつあります。地域部会が活動の中心として、地域の公共交通システムを守ります。

・また、民間においても、タクシー事業者における本格的な旅客運送会社化の動きや病院バスの活用の動きが出始めています。

・町村は、地域部会、事業者をさまざまな形でサポートすることで、こうした流れを加速

させていただきます。

**基本方針3 公共交通システムを多くの住民・来訪者に知ってもらい、
利用してもらうための取り組みを進めます**

地域で公共交通システムを「育てます」

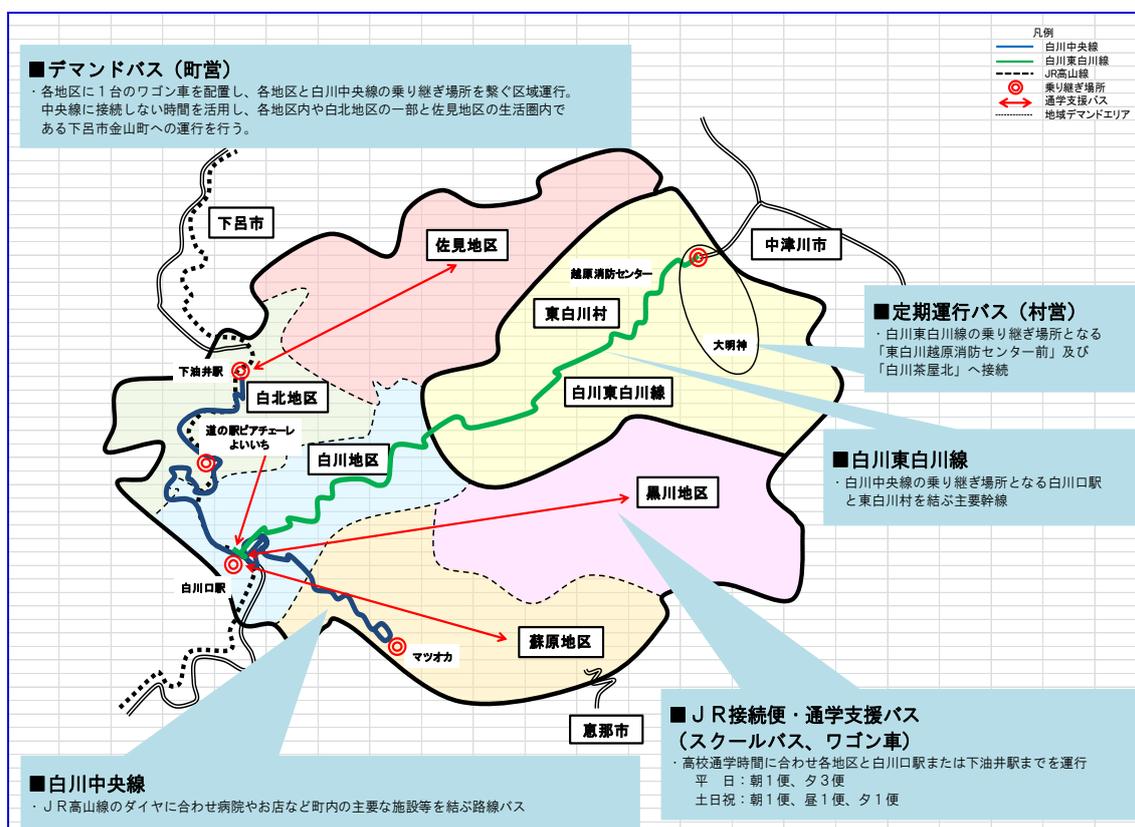
・地域の多くの住民にとって、公共交通は身近な存在とはなっていません。地域の将来を見据えた場合、いつまでも住み続けられる地域となるためには、公共交通の存在は必要不可欠です。「乗って楽しい、降りても楽しい」公共交通システムを地域でつくりあげ、多くの住民・来訪者に知ってもらい、利用してもらうための取り組みを進めます。

2. 新しい公共交通システムのイメージ

公共交通分野の基本方針に基づき、2018年10月に、公共交通システムの再編を行います。新しい公共交通システムは鉄道（JR高山本線）を基軸とし、運送事業者による運送（道路運送法4条・緑ナンバー）と市町村運営の自家用有償運送（同78条2項・白ナンバー）で編成していきます。また、土日祝日の運行を再開するほか、乗客の安全・安心の向上を図るため、地域内の事業者の乗合事業参画を支援し、体制整備の状況に応じて運送事業者による運送範囲を拡大させていきます。

新しい公共交通システムは、住民・事業者とともに地域内外のニーズを確認し、逐次見直していきます。

【新しい公共交通システムのイメージ図・説明（2018年10月）】



東白川村から白川口駅に至る路線バス「白川東白川線」が東西に、ニーズの高い目的地（駅／病院／買物先）を結ぶ路線バス「白川中央線」が南北に走ります。

各地区には自家用有償運送の車両を配置して、地域の足を確保します。更に各地区内の移動だけでなくニーズに応じて目的地へ直行する運行も行います。

こうして路線バスと地域の足をつなぎ、町村内全域に移動できる環境をつくります。

(1) 運送事業者による運送

2018年10月をもって路線の再編を行い、現行のバス3路線（佐見線、黒川線、蘇原線）の定時定路線運行は廃止し、2路線（①白川東白川線、②白川中央線）の運行を開始します。2年間は現行のバス事業者が運行するものとしますが、その後は事業者の変更もあり得るものとして、2018年度から検討していきます。

①白川東白川線

現行の路線バス（白川線）の運行内容を基本的に継承し、白川口駅と東白川村地内の終着点を結ぶ定時定路線運行とします。

早朝の高校生の通学の足を確保するとともに、現行よりも遅い時間帯に白川口駅に到着するJRに接続することで、高校生の帰宅時の利便性を高めます。

東白川村内の終着点については、現行の「大明神」から「越原消防センター前」に変更することで往復運行本数を増やします。あわせて、平日の「越原消防センター前」から「大明神」まで及び土日祝日の「白川茶屋北」から「大明神」までの区間については、村による無償運行を行います。

②白川中央線

白川町内の下油井駅、道の駅ピアチェーレ・よいいち美濃白川、白川病院、白川口駅、美濃白川楽集館前、スーパーマツオカの6箇所をつないで往復運行する定時定路線を新設します。鉄道併走区間がありますが、駅と駅の間にある2つの拠点（道の駅ピアチェーレ・よいいち美濃白川、白川病院）は駅から遠くバスでのアクセス確保が必要です。上記の6箇所を交通結節点とし、各地区の自家用有償運送を接続させます。また、白川口駅のJR発着に連動するダイヤを作成し、鉄道乗り継ぎの利便性を高めます。

③タクシー

地域内のタクシー事業者は1社のみですが、市町村運営自家用有償運送で実施する運行で対応できない早朝及び夜間等の時間帯や緊急時の対応など、今後も貴重な移動手段としての利活用についての検討を進めます。

(2) 市町村運営自家用有償運送

公共交通空白地の解消を図るため、運送事業者による運行路線がない部分について、市町村運営自家用有償運送を実施します。これらは、地域内交通（地域内の移動）と地域間交通（地域外への移動）の両方を担います。運送事業者による運行路線上の交通結節点へ接続することで地域内に車両がある時間を増やし、より多くの利用者のニーズに対応していきます。具体的には、白川町内において2016年末から実施している実証運行（無償）の内容を道路運送法の規定の範囲内で継承し、各地区で2018年10月から市町村運営有償運

送（交通空白輸送）を開始します。基本的には、利用登録した者が予約して乗車できるデマンド型交通（以下「デマンド型区域運行」という。）として地区（白川、白川北、蘇原、黒川、佐見）ごとに設定した区域を運行します。また、町外からの来訪者については、利用登録をしなくても利用することができます。

<各地区の運行内容>

①白川地区

白川東白川線が県道下呂白川線を運行、白川中央線が県道恵那白川線を運行する地区ですが、広野自治会などの集落が交通空白地となるため、定員10人以下の車両を用いてデマンド型区域運行を行います。

②白川北地区

白川中央線が国道41号、国道256号を運行する地区ですが、宇津尾自治会、野原自治会などの集落が交通空白地となるため、定員10人以下の車両を用いてデマンド型区域運行を行います。

早朝の高校生通学（着地：白川口駅）に対応した運行については、車両をバス（スクールバス）に変更します。

③蘇原地区

白川中央線の停留所「スーパーマツオカ」がありますが、それ以东は交通空白地となるため、定員10人以下の車両を用いてデマンド型区域運行を行います。

早朝の高校生通学（着地：白川口駅）に対応した運行については、車両をバス（スクールバス）に変更します。

④黒川地区

全域が交通空白地となるため、定員10人以下の車両を用いてデマンド型区域運行を行います。

早朝の高校生通学（着地：白川口駅）に対応した運行については、車両をバス（スクールバス）に変更します。

目的地が地域内であることが多く（実証運行では5割が地域内）、地域内交通の充実が課題となっています。計画期間内において地域内交通と地域間交通の運行主体のすみ分けを検討していきます。

⑤佐見地区

全域が交通空白地となるため、定員10人以下の車両を用いてデマンド型区域運行を行います。発着地を下呂市金山町地内とした往復運行を行う場合があります。

早朝の高校生通学（着地：下油井駅）に対応した運行については、平日のみ車両をバス（スクールバス）に変更します。

⑥東白川村

白川東白川線の終点を現状の大明神から越原消防センター前に変更するため、平日の越原消防センター前から大明神まで及び土日祝日の白川茶屋北から大明神までの区間につきましては、通学者に対応した村の無償運行を行います。

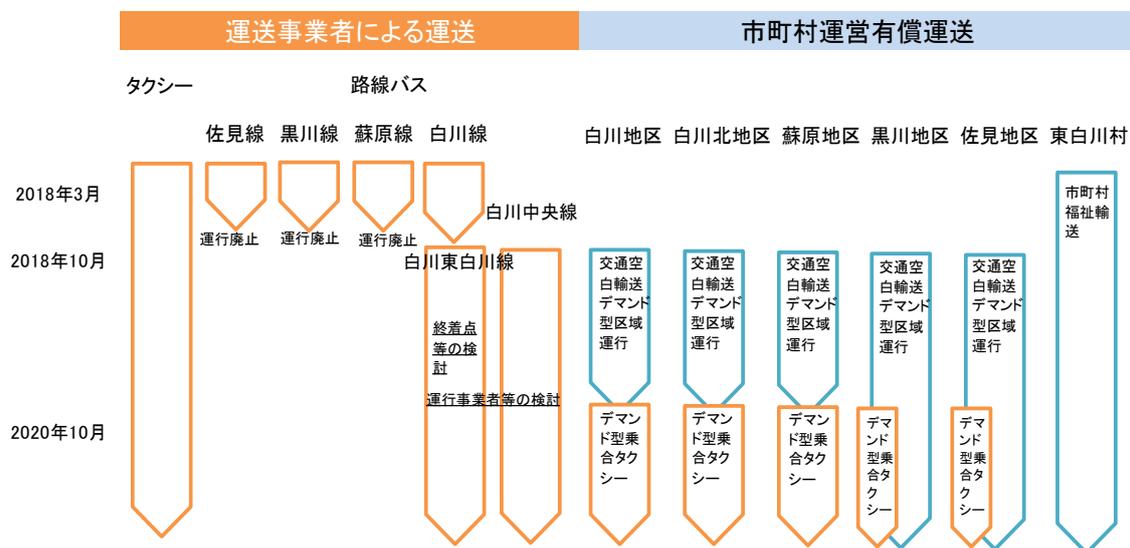
【再編後の運行形態】

	白川	白川北	蘇原	黒川	佐見	東白川
運行形態	デマンド型 区域運行	デマンド型 区域運行	デマンド型 区域運行	デマンド型 区域運行	デマンド型 区域運行	定期運行
運行車両	定員 10 人 以下	定員 10 人 以下	定員 10 人 以下	定員 10 人 以下	定員 10 人 以下	定員 10 人 以下
運行車両 (早朝)	濃飛バス (白川東白川線)	スクールバス	スクールバス	スクールバス	スクールバス	濃飛バス (白川東白川線)
運行主体	白川町	白川町	白川町	白川町	白川町	東白川村
運賃	同一体系	同一体系	同一体系	同一体系	同一体系	同一体系

【運賃体系について】

運賃については、事業者路線も含め白川町・東白川村全域の同一運賃体系とし、運賃表は別途定めます。

【再編スケジュール】



黒川地区及び佐見地区は他地区から遠距離であり、地域内交通と地域間交通（町外移動含む）両方の利便性を高めるには、運行主体間の役割分担が有効と考えます。運送事業者の体制整備状況に応じて分担していきます。

3. 計画の目標

計画の基本方針を達成するため、以下の通り目標を設定します。

基本方針 1

地域で公共交通システムを「つくります」

地域組織（※）が中心となり「地域の」「地域による」「地域のための」公共交通システムをつくります

（※東白川村は村役場が中心となる）

目標 1

- ①どの集落からでも買い物場所や駅までの移動を可能にします
- ②高校生の自宅通学を可能にします
- ③高齢者が免許返納してもおでかけに困らないようにします

■指標 1：公共交通の集落カバー率（交通空白地が解消されているか）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
バス停（バス乗り場）が存在する自治会の割合	100%	72.6%

※指標の算出方法 バス停が存在する自治会÷全自治会数

現状値 バス停が存在する自治会（61）÷全自治会数（84）

目標値 交通空白地の解消を目指すため100%とする

■指標 2：自宅通学を希望する高校生の自宅通学率（高校生の自宅通学が可能か）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
自宅通学を希望する高校生の自宅通学率	100%	86.5%

※指標の算出方法 希望する通学形態を「自宅通学」と答えた者のうち実際の通学形態が「自宅通学」である高校生の割合

現状値 2017年度の高校生(1, 2年)を持つ保護者へのアンケート 白川町のみ実施

回答者 84人 うち自宅通学希望者 74人、そのうち自宅通学できている者 64人

目標値 自宅通学を希望する高校生の自宅通学を可能とするため100%とする

■指標3：地区別利用登録者・高齢者のおでかけ（高齢者のお出かけが確保されているか）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
利用登録者数	1,373人	944人
白川地区	247人	197人
白川北地区	100人	61人
蘇原地区	230人	117人
黒川地区	326人	176人
佐見地区	120人	43人
東白川村	350人	350人
75歳以上の利用登録者割合	50%	20.6%
行きたいところに行ける公共交通利用者(高齢者)の割合	80%	—

※1 利用登録者数

指標の算出方法 地域デマンド交通の利用登録者数

現状値 白川町 実証運行の利用登録者数（2018年1月末時点）

東白川村 福祉有償運送の利用登録者数（2018年2月末時点）

目標値 地域部会で設定

※2 75歳以上の利用登録者割合

指標の算出方法 75歳以上の利用登録者数÷75歳以上の人口

現状値 75歳以上の利用登録者数（453人）÷75歳以上の人口（2,198人） 白川町分のみ

目標値 2016年度住民アンケートにおいて「自分が自由に利用できる自家用車がある」以外の回答をした75歳以上の方（50.1%）の登録を目指す

※3 行きたいところに行ける公共交通利用者(高齢者)の割合

指標の算出方法 住民アンケート 高齢者（65歳以上）が対象

現状値 新規設定のため無し

目標値 利用者のうち80歳以上の全員と65～79歳の3分の2の人が「公共交通で行きたいところに行ける」と回答することを目指す

2018年1月1日時点の80歳以上 1,995人（白川町1,570人+東白川村425人）

65～79歳 2,563人（白川町2,017人+東白川村546人）

$(1,995 + 2,563 \times 2/3) \div (1,995 + 2,563) \approx 80\%$

基本方針 2

地域で公共交通システムを「守ります」

いつまでも住み続けられるための暮らしの足を確保します

目標 2

- ①地域部会(東白川村役場)が各地域の活動を主導します
- ②担い手(運転手)の確保や事業者の運行管理体制を支援し、持続可能な公共交通システムをつくります
- ③さまざまな事業者や団体が連携し、効率的かつ効果的に運行します

■指標 1：各地域が主体となった取り組み数（地域部会等が活動の中心となっているか）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
白川地区	25件	23件
白川北地区	20件	13件
蘇原地区	30件	13件
黒川地区	10件	23件
佐見地区	20件	13件
東白川村	5件	—

※指標の算出方法 地域部会役員会、懇談会等開催数

現状値 白川町：地域部会役員会、懇談会等開催数（2018年1月末時点）

目標値 白川町：地域部会で設定 東白川村：住民との懇談、説明会等の開催数

■指標 2：地域公共交通の担い手（運転手等担い手が確保できているか）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
交通事業者の新規雇用者数	15人	—
地域運転ボランティア登録者数	25人	21人

※1 交通事業者の新規雇用者数

指標の算出方法 交通事業者へのヒアリング等

現状値 新規設定のため無し

目標値 2018年度地方創生推進交付金実施計画より

※2 地域運転ボランティア登録者数

指標の算出方法 地域運転ボランティア（自家用有償運送運転有資格者）登録者数

現状値 実証運行運転ボランティア登録者数 21人（黒川地区10人、佐見10人、その他1人）

目標値 地域部会で設定

■指標3：運行の効率性（効率的かつ効果的な運行ができていますか）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
利用者1人あたり運行経費	2017年度の金額以下	1,278円/人
白川東白川線	1,210円/人	1,258円/人
白川中央線	1,503円/人	—円/人
デマンド（白川地区）	5,177円/人	2,387円/人
デマンド（白川北地区）	1,877円/人	1,868円/人
デマンド（蘇原地区）	2,444円/人	5,620円/人
デマンド（黒川地区）	1,130円/人	3,106円/人
デマンド（佐見地区）	1,407円/人	5,326円/人

※指標の算出方法 運行にかかる経費（業務委託費、車両費、燃料費、人件費等）÷利用者数

現状値 利用者1人あたり運行経費

濃飛バス4路線(63,835,325円)÷利用者数(全体60,294人ーバス通学10,357人=49,937人)

白川東白川線 濃飛バス白川線 運行経費(19,105,646円)÷利用者数(15,190人)

白川中央線 新規設定のため無し

デマンド（白川地区） 実証運行の経費(875,960円)÷実証運行の利用者数(367人)

デマンド（白川北地区） 実証運行の経費(1,526,264円)÷実証運行の利用者数(817人)

デマンド（蘇原地区） 実証運行の経費(1,005,958円)÷実証運行の利用者数(179人)

デマンド（黒川地区） 実証運行の経費(975,389円)÷実証運行の利用者数(314人)

デマンド（佐見地区） 実証運行の経費(1,155,850円)÷実証運行の利用者数(217人)

目標値 利用者1人あたり運行経費

目標年次における車両数、運転・運行管理人員数等の未確定要素が多いため、総額として現状以下とすることを旨す

白川東白川線

年間運行経費は、1日当たり経費を据え置きとし土休日運行復活の日数増を反映して算出し、目標利用者数（基本方針3指標2）で除した

(19,105,646×364/237=29,343,692円)÷(66.6人×364日=24,242人)

白川中央線

運行経費(16.2km×8便×371.16円/km×364日=17,509,250円)÷利用者数(32人×364日=11,648人)

デマンド（白川地区） 運行経費(17,632,912円)÷利用者数(3,406人)

デマンド（白川北地区） 運行経費(15,326,164円)÷利用者数(8,164人)

デマンド（蘇原地区） 運行経費(15,313,204円)÷利用者数(6,266人)

デマンド（黒川地区） 運行経費(12,489,185円)÷利用者数(11,050人)

デマンド（佐見地区） 運行経費(7,790,123円)÷利用者数(5,538人)

※デマンド：運行経費は朝夕の高校生通学バス分を含む

利用者数は地域部会目標数に通学高校生分の目標数を加算

基本方針 3

地域で公共交通システムを「育てます」

新しい公共交通システムを多くの住民・来訪者に知ってもらい、
利用してもらうための取り組みを進めます

目標 3

- ①公共交通の必要性を理解してもらいます
- ②公共交通をもっと身近に感じてもらいます
- ③公共交通システムの利用環境を充実し、利便性を高めます

■指標 1：公共交通システムの必要性の理解（公共交通の必要性への理解が進んだか）

評価項目	目標値（2022 年度）	現状値（2017 年度）
公共交通システムの必要性について理解している割合	70%	42.4%
公共交通新規利用者となった70歳代の人数	60人（累計）	—

※1 公共交通システムの必要性について理解している割合

指標の算出方法 住民アンケート

現状値 2016年度住民アンケートにおいて「行政の公共交通への関わり方として『現状維持(24.3%)』

『費用を増加しても利便性向上を図る(18.1%)』と回答した割合

目標値 上記のアンケートにおいて『わからない』と答えた無関心層(45.8%)のうち半分の人に

必要性を理解してもらう $42.4\% + 45.8\% \times 1/2 = 70\%$

※2 公共交通新規利用者となった70歳代の人数

指標の算出方法 年間フリーパスを新規購入した70歳代の人数

現状値 新規設定のため無し

目標値 各地区年間2人×6地区×5年間=60人

■指標 2：公共交通利用者数（公共交通の利用者が増えたか）

評価項目	目標値（2022 年度）	現状値
白川口駅乗車人員	6.5万人	7.4万人（2016年度）
公共交通システム利用者数 （1日あたり）	214人／日	86.2人／日
白川東白川線	66.6人／日	62.8人／日
白川中央線	32人／日	—
デマンド（白川地区）	10人／日	※実証運行 6.2人／日

デマンド（白川北地区）	12人／日	〃	7.5人／日
デマンド（蘇原地区）	6人／日	〃	2.8人／日
デマンド（黒川地区）	10人／日	〃	4.1人／日
デマンド（佐見地区）	6人／日	〃	2.8人／日

※1 白川口駅乗車人員

指標の算出方法 白川口駅乗車人員

現状値 2016年度

目標値 高校生の自宅通学率が年3%増加、高校生以外の乗車人員は現状維持として算出

※2 公共交通システム利用者数（1日あたり）

指標の算出方法 公共交通システム利用者数÷運行日数

現状値

全体	下記の合計
白川東白川線	濃飛バス白川線 利用者数(15,190人)÷運行日数(242日)
白川中央線	新規設定のため無し
デマンド（白川地区）	実証運行の利用者数(367人)÷運行日数(59日)
デマンド（白川北地区）	実証運行の利用者数(817人)÷運行日数(109日)
デマンド（蘇原地区）	実証運行の利用者数(179人)÷運行日数(64日)
デマンド（黒川地区）	実証運行の利用者数(314人)÷運行日数(76日)
デマンド（佐見地区）	実証運行の利用者数(217人)÷運行日数(77日)

目標値

全体	下記の合計に高校通学分(71人/日)を加算
白川東白川線	人口減少を考慮した上で、毎年1%程度の利用者の増加を見込む
白川中央線	1便あたり4人×8便
デマンド（各地区共通）	各地域部会が設定（一般利用分のみで高校通学分は含まない）

■指標3：公共交通システムの利便性（公共交通システムの利便性が高まったか）

評価項目	目標値（2022年度）	現状値（2017年度）
公共交通システムの利便性	80%	32.4%

※公共交通システムの利便性

指標の算出方法 住民アンケート

現状値 2016年度住民アンケートにおいて「白川町もしくは東白川村の公共交通は利用しづらい」との質問に「思わない」と回答した人の割合

目標値 上記の回答をする人が、5年間にわたり毎年10%増えるものとして算出

第7章 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項

1. 施策の体系

基本方針	目標	施策	実施主体
基本方針1 地域で公共交通システムを「 つくり ます」 地域組織が中心となり「地域の」「地域による」「地域のための」公共交通システムをつくります	目標1 ①どの集落からでも買い物場所や駅までの移動を可能にします ②高校生の自宅通学を可能にします ③高齢者が免許返納してもおでかけに困らないようにします	1 ニーズ把握に基づく運行内容(形態、経路、ダイヤ、JRとの接続等)の設定	○白川町・東白川村 ○地域部会 ○交通事業者
		2 高校生の公共交通を利用した通学を支援	○白川町・東白川村 ○地域部会○保護者 ○交通事業者
		3 高齢者のお出かけ支援	○白川町・東白川村 ○福祉事業者
基本方針2 地域で公共交通システムを「 守り ます」 いつまでも住み続けられるための暮らしの足を確保します	目標2 ①地域部会が活動の中心となります ②担い手(運転手)の確保や事業者の運行管理体制を支援し、持続可能な公共交通システムをつくります ③さまざまな事業者や団体が連携し、効率的かつ効果的に運行します	1 地域部会の活動強化・活動環境の整備	○白川町 ○地域部会
		2 担い手(交通事業者および運転手)の確保	○協議会 ○地域部会 ○白川町・東白川村
		3 運行管理体制の整備	○白川町
		4 地域内モビリティの有効活用(事業者間の連携)	○協議会 ○白川町・東白川村 ○地域内事業者
基本方針3 地域で公共交通システムを「 育 てます」 公共交通システムを多くの住民・来訪者に知ってもらい、利用してもらうための取り組みを進めます	目標3 ①公共交通の必要性を理解してもらいます ②公共交通をもっと身近に感じてもらいます ③公共交通システムの利用環境を充実し、利便性を高めます	1 公共交通に対する意識啓発	○協議会 ○白川町・東白川村
		2 地域の魅力とともに公共交通システムをPR	○白川町・東白川村 ○観光協会
		3 利用促進ための取り組み	○協議会 ○地域部会 ○白川町・東白川村 ○交通事業者 ○商工業者
		4 利用環境の整備	○白川町

2. 施策の内容

(1) 地域で公共交通システムを「つくる」

施策1 ニーズに基づき運行内容（形態、経路、ダイヤ等）を設定し、計画に基づき運行
交通空白地を解消し、どの集落からでも買い物場所や駅までの移動が可能となるような
運行内容をつくり、その計画に基づき地域内の公共交通を運行していきます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
自家用有償運送による空白地の解消 (デマンド交通の実施)	白川町 交通事業者	==	====>			
路線バスの再編 (白川東白川線、白川中央線の運行)	白川町・東白川村 交通事業者	==	====>			
路線バス運行時間の延長 (19時以降の鉄道に接続する帰宅の足の確保)	白川町・東白川村 地域部会 交通事業者	==	====>			
交通結節点の活用による運行効率性・利便性向上 (路線バスと自家用有償運送をつなぐ利便性の向上)	白川町・東白川村 交通事業者	==	====>			
隣接市町を目的地とするニーズへの対応 (利用者にとって必要な存在とされる移動サービスの整備)	白川町 交通事業者	==	====>			

施策2 高校生の公共交通を利用した通学を支援

高校生の公共交通を利用した通学が可能となるよう支援していきます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
自宅通学できる公共交通の維持 (行きも帰りも公共交通がある安心感を提供するため、土日休日を含めた通学・帰宅の足を確保する)	白川町・東白川村 交通事業者					====>
つくり守る意識を高める運行調整会議の開催 (高校生保護者とともに運行ルートや乗降場所を調整し区域運行を実施)	白川町、東白川村 地域部会、保護者 交通事業者					====>
公共交通を利用する子どもがいる家庭への支援 (高校生JR・バス等通学定期券購入補助)	白川町、東白川村					====>

施策3 高齢者のお出かけ支援

免許返納しても高齢者が買い物や病院へ行けるよう支援していきます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
福祉有償運送による足の確保 (介助を要する高齢者など交通弱者の足を確保。公共交通利用者との棲み分け)	白川町、東白川村 福祉事業者	==	==	====>		

(2) 地域で公共交通システムを「守る」

施策1 地域部会の活動強化・活動環境の整備

・地域における担い手確保や運行内容の検討、運行管理、広報活動などを地域部会の活動を中心に進めていきます。そのために、地域部会の実行力の増強を支援していきます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
地域部会の運営、活動の支援 (地域部会の活動のために必要な「地域部会活動交付金」を交付し、地域の核となる部会組織を強化する)	白川町 地域部会					
地域部会の運転手による有償運送実施 (支え合う気持ちをカタチで表し地域に見せる)	白川町 地域部会					
地域運営組織組成に向けた研修等の実施 (地域部会の組織強化のために必要な研修会及び講習会を開催する。地域部会活動交付金を充当する)	白川町 地域部会					

施策2 担い手（交通事業者および運転手）の確保

地域公共交通の担い手（運転手）確保に向け、運行事業者の運転手や地域ボランティアの確保、資質向上に向けた支援を行います。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
ドライバーズバンクへの登録及び活用 (地域の働き場としての公共交通の在り方や地域ドライバーによる運行体制を確立する)	白川町 地域部会					
担い手づくりの促進 (運転手確保のため、二種免許取得費用の助成や移住者に向けた情報発信を実施する)	白川町					
担い手不足の周知とイメージアップ戦略の展開 (担い手募集ムービーを制作し、あらゆる機会に放映したりSNSなどで拡散する)	白川町 協議会					

施策3 運行管理体制の整備

持続的な公共交通システムをするため、運行事業者の運行管理体制の整備を実施します。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
地元交通事業者の組織体制づくり支援 (地方創生の観点から、町内に安定した雇用の場をつくるため、外部人材を投入し、経営管理・運行管理を支援する)	白川町	→				
交通事業者の収入安定支援及び運行事業費の削減 (スクールバス運転業務を直営から委託に変更し、事業者の収入を安定させるとともに、町の運行事業費の削減を図る)	白川町	→				
自家用有償運送車両の装備の充実 (運行管理に必要な備品(ドライブレコーダー、無線機器、アルコールチェック機器等)を車両に装備する)	白川町	→				

施策4 地域内モビリティの有効活用(事業者間の連携)

病院バスや社会福祉法人の福祉車両、スクールバスなど地域内の各事業者が連携し、地域内のモビリティを有効活用します。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
早朝時間帯におけるスクールバス車両の活用 (高校生の通学等、10人以上の乗車にも対応)	白川町	→				
社会福祉法人等による福祉有償運送 (福祉車両を用いたドアtoドアによる運行を実施する)	白川町・東白川村 協議会 社会福祉法人	→				
病院バスとの連携 (病院バスの活用に関する実証実験・アンケート・ヒアリングを実施し、公共交通との連携の道を探る)	協議会 白川町 病院	→				

(3) 地域で公共交通システムを「育てる」

施策1 公共交通に対する意識啓発

地域における公共交通の必要性についての意識を高めていきます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
「暮らしの足の大切さ」啓蒙活動 (地域に必要と意識させるムービーを制作し、あらゆる機会に放映したり、SNS等で拡散したりする)	白川町		→			
町広報紙及び防災行政無線等による周知 (広報紙、無線及びケーブルテレビ等を活用し、新しい公共体系等を周知)	白川町、東白川村	→				
公共交通リーフレット及び時刻表等の作成 (来訪者向けの分かりやすい情報提供及び観光情報とあわせた公共交通情報を提供する。全戸配付)	協議会 白川町、東白川村	→				

施策2 地域の魅力とともに公共交通システムをPR

周辺施設や路線図、ダイヤ、使い方、おすすめコースなどを掲載したおでかけマップを作成するなど、地域の魅力を公共交通の利用につなげるための取り組みを進めます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
白川口駅観光案内所の活用 (案内業務の傍ら、バスの使い方説明、乗車券類の販売、公共交通の窓口として活用する)	白川町、東白川村 観光協会	=	→			
来訪者向けのわかりやすい情報提供 (公共交通と観光情報が同時にわかるリーフレットを作成する)	白川町、東白川村 観光協会	= = = =	→			
ワークショップの実施 (ワークショップ等を実施し、観光を切り口とした来訪者のための公共交通のあり方を考える)	白川町、東白川村 観光協会	= = = =	→			

施策3 利用促進の取り組み

利用に対する不安を解消する取り組みや利用者登録カードの活用など、さまざまな形で利用促進につながるような取り組みを進めます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
交通結節点における乗り継ぎ案内 (路線運行及びデマンド運行の有効的なダイヤ設定を考 える)	白川町、東白川村 交通事業者	==	=====			
免許返納者に対する利用特典 (運転免許の自主返納者に対し、6ヶ月定期券を発行す る。6ヶ月限定で1回のみ)	白川町、東白川村 加茂警察署	==	=====			
ワークショップの実施 (ワークショップ等を実施し、観光を切り口とした来訪者の ための公共交通のあり方を考える)	白川町、東白川村 観光協会	==	=====			
乗り方講座の開催 (地域部会による乗り方講座で、利用に対する不安を解 消する)	協議会 白川町、東白川村 地域部会 交通事業者	==	=====			
地域の店舗との連携 (利用者に対するポイント付与や値引きなど地域の店舗 と連携し利用者登録カードを活用する)	白川町、東白川村 町村商工業者	==	=====			
利用機会の少ない世代への利用促進 (春夏冬休み限定小中学生割引乗車などバス利用の機 会を設け、将来の利用者へのPRを行う)	協議会 白川町、東白川村			=====		
地元野菜等直売所の出荷者に向けたサービス (野菜等の運搬サービスで客貨混載による生活支援を実 施する)	白川町 交通事業者 施設管理者		==	=====		

施策4 利用環境の整備

待合施設など公共交通の利用環境を向上させる施設を整備していきます。

個別事業の概要	実施主体	実施期間				
		2018	2019	2020	2021	2022
ミーティングポイントの整備 (待ち時間を楽に過ごせるよう待合施設等を整備・設置す る)	白川町	==	=====			
利用者に分かりやすいバス停の整備 (待ち時間を楽に過ごせるよう待合施設等を整備・設置す る)	白川町	==	=====			
バス予約アプリの導入・研究 (一定時刻に利用が集中する高校生を対象にスマート フォン等で乗車予約できるシステム試作版を導入し、使 いながら改良していく)	白川町			=====		
ホームページの整備 (専用のホームページを整備し、緊急時に対応したSNS と連携した運用体系を構築する)	白川町		==	=====		

第8章 計画の達成状況の評価に関する事項

1. 進行管理・評価・定期的な見直し

本計画の推進については、白川町・東白川村地域公共交通活性化協議会（以下、協議会）で計画地域全体の管理を行います。各地区の具体的な交通システムの検討や運営などについては地域部会で行い、協議会に報告するとともに、必要に応じて協議を行います。また、交通事業者が主体となる場合も、協議会への報告、必要に応じた協議を行います。

進捗管理については、各種データや住民アンケート、利用者アンケート、地域部会でのヒアリングを通じ、目標を達成するために行う事業の進捗状況の把握や達成状況の評価・検証していきます。また、その結果を事業の見直しや改善に活かし、必要に応じて計画を変更していきます。

事業の進捗状況や評価・検証結果、計画の変更などについては、協議会や地域部会などの場を通じて公表するとともに、町や村の広報やホームページでも情報提供していきます。

2. 評価の方法及びスケジュール

計画に定めた事業については、運行状況や利用状況のデータや各種アンケート調査、ヒアリング調査に基づき、毎年度、評価・検証を実施し、必要に応じて計画や事業を見直していきます。

また、最終年度には計画全体の評価を実施し、その結果を次期計画に反映していきます。

【スケジュール】

	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
実施事項	● 計画の策定		● 新公共交通 システムの稼働			● 見直し				● 見直し				● 見直し				● 見直し		● 新計画策定
地域公共交通協議会 (地域部会は随時開催)	●		●	●	●	●	●	●		●			●	●				●		●
白川・東白川地域 公共交通網形成計画			(必要に応じ) 計画の見直し			(必要に応じ) 計画の見直し				(必要に応じ) 計画の見直し				(必要に応じ) 計画の見直し			● 新計画の策定協議		(必要に応じ) 計画の見直し	
計画に基づく事業の実施		● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議	● 事業の実施	● 事業の協議
運行・利用状況・実施事業の評価			● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	●	● 利用状況評価 事業評価 国補助検討	● 計画全体の評価
計画・事業の見直し及び改善				● 見直し・改善協議			● 見直し・改善協議			● 見直し・改善協議			● 見直し・改善協議			● 見直し・改善協議			● 見直し・改善協議	

【各目標の評価スケジュール】

目標	評価指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	評価手法	実施者
目標1 ①どの集落からでも買い物場所や駅までの移動を可能にします ②高校生の自宅通学を可能にします ③高齢者が免許返納してもおでかけに困らないようにします	公共交通の集落カバー率	●	●	●	●	●	白川町・東白川村データ	白川町・東白川村
	自宅通学を希望する高校生の自宅通学率	●	●	●	●	●	保護者へのアンケート	白川町・東白川村
	地区別利用登録者・高齢者のお出かけ確保率	●	●	●	●	●	白川町・東白川村データ	白川町・東白川村
目標2 ①地域部会が活動の中心となります ②担い手(運転手)の確保や事業者の運行管理体制を支援し、持続可能な公共交通システムをつくります ③さまざまな事業者や団体が連携し、効率的かつ効果的に運行します	各地域が主体となった取り組み数	●	●	●	●	●	白川町・東白川村データ	白川町・地域部会・東白川村
	地域公共交通の担い手	●	●	●	●	●	交通事業者へのヒアリング	白川町・東白川村
	運行の効率性	●	●	●	●	●	白川町・東白川村データ	白川町・東白川村
目標3 ①公共交通の必要性を理解してもらいます ②公共交通をもっと身近に感じてもらいます ③公共交通システムの利用環境を充実し、利便性を高めます	公共交通システムの必要性の理解 (行政の公共交通への関わり方)			○ 必要に応じ		●	住民へのアンケート	白川町・東白川村
	公共交通システムの必要性の理解 (70歳代の公共交通新規利用者)	●	●	●	●	●	住民へのアンケート	白川町・東白川村
	地区別・路線別利用者数	●	●	●	●	●	白川町・東白川村データ	白川町・東白川村
	公共交通システムの利便性			○ 必要に応じ		●	住民へのアンケート	白川町・東白川村

